篠崎 高等学校 令和5年度(2学年) 教科 教 科: 総合的な探究の時間 総合的な探究の時間

対象学年組:第 1 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: (1組:角・佐藤創) (2組:名古屋・吉田(3組:両角・疋田)(4組:清水・生天E(5組:坂元・山本)(6組:飯塚・春田)(7組:山口・阿原) 使用教科書: (東京都教育委員会「人間と社会」

の目標:

教科 総合的な探究の時間

の日標:

【知 謙 及 び 技 能 】 地域社会における企業や団体が抱える課題について、他者との協働に基づく探究的な学びを通して理解することができる。

地域社会における企業や団体が抱える課題を解送するために、企業へのインタビューやアンケートなどの
【思考力、判断力、表現力等】調査を基に、多面的、多角的に分析し、その過程や望ましい解決の在り方について表現することができる。

単位数: 1 単位

。。。 【学びに向かう力、人間性等】について探究しようとしている。

科目 総合的な探究の時間 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地域社会における企業や団体が抱える課題につ		地域社会における企業や団体が抱える課題に
いて、他者との協働に基づく探究的な学びを通		ついて、他者と協働しながら主体的に望まし
		い解決の在り方について探究しようとしてい る。
	について表現することができる。	ବ .

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・2年次における地域保架学習の概要を踏まえ、企業から提示されたテーマを複数比較、検討したうえでろいて当からできた。 金業講演に 4 自力 から かった できません から できません から できません から でいません さい でいません から でいません さい でいません でいました から できる。	・地域提究学習についてガイダンス・企業の取り組みを知る・企業譲渡① ・仮設と問いを立てる・中間報告会	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動した かという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をする。	0	0	0	12
2 学期	・グループにおいて探究するテーマに関するフィールドワーク等を行い、情報収集を行う。 ・「デザイン思考」のフレームワークに基づき、各所し、企業の課題を背積を整理、分析し、企業の課題を解除さるプランを発表し、企業からのフィードバックを基に方向性の修正を図る。	・フィールドワーク ・グループ調査 ・検証計画立てる ・検証計画を実施する ・発表	年間を通じて ・目標に限らし、十分な意欲をもって活動した かという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をする。	0	0	0	13
3 学期	・冬季休業を活用し、企業の国りごとを解決するオリジナルの企画書の個人で作成した企画書を持ち寄り、グループで企画書を作成する。 ・企画書をもとにグループのの共同編集で発表スライドを作成する。 ・1年間の学習の成果とともに、発表する。 ・1年間の活動を振り返り、個人の興味関心に合った課題を設定する。	・企画書の作成 ・まとめと探究の技法 ・発表スライドの作成 ・発表文準備 ・発表	年間を通じて ・目標に照らし、十分な意欲をもって活動した かという観点に基づいて評価を行う。 ・生徒の形成的評価をふまえ、指導に関わった 教員の診断的評価を集約し、総合的に評価をす る。	0	0	0	10 合計 35

## 高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

 教科担当者: (1組: 名取 ) (2組: 名取 ) (3組: 名取 ) (4組: 坂元 ) (5組: 坂元 ) (6組: 坂元 )

 使用教科書: (「文学国語」東京書籍(文国701)
 ) (7組: 坂元 )

教科 国語 の目標

【知 識 及 び 技 能 】 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理 解を深めることができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わり の中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かうカ、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 文学国語

の日標・

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かうカ、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に	ばすとともに、創造的に考える力を養い、他	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、 生涯にわたって読書に親しみ自己を向上さ
	者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分  の思いや考えを広げたり深めたりすることが  できるようにする。	せ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

			T							
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話聞	領域書	読	評価規準	知	思	態	配当 時数
	A 単元 随筆 「雨月物語」 【知識及び技能】 生涯にからる社会生活に必要なと理なとの知識を対しているとするするとができるようには対しているとするとができるとができるとができるとができるとができるとができるとができるとができ	注目して、本文を通読す書かれた 2筆者が「大学では、本文を通読す書かれた本 ・本文を通話でいたかかたが、「本子供向に感じでは、 ・本でないる。「本子供育に感じでは、 ・でいる。「本子は、「ないでは、 ・でいる。「ないでは、 ・でいる。」では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。では、 ・でいる。できる。では、 ・でいる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。できる。でき		0	0	「知技」・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量感を増し、文章で使うことを通して、我がいる。・文書語文化の特質について理解を深めている。 「思判表」・「読むこと」において、文章の種類を踏さとりにおいて、対章のを踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえて、人間、社会、自然などにいる。というによいて、今までの見方、感じ方、考さいる。を踏まえ、人間、社会、方を深めている。というによいて、今までの見方、感じ方を深めている。というにいる。	0	0	0	10
1 学期	B単元「窓」 【知識及び技能】 生涯に必要となせるとを選出しているとなった。 「知識及び技能】生涯に必要となるは、 生涯にかたる社会生活に必要となった。 「生涯にからないである。 、判断力、かにに、の自りする力、からに、の自りする力を含ができる。 、判断力をであるとが、もました。のものもののる。 、対のしたが、のものがで考でで考でで考でで考でで考でで考でで考さいた。 「一葉ないたのに、のは、 にないたが、 にないないで考さいたが、 にないないで考さいた。 「一葉を書きのであるに、 にないないで考さいであるに、 にないないで考さいた。 「一葉を書きのは、 にないて、 にないていいて、 にないていいていいていいていいていいていいていいていいていいていいていいていいてい	「僕」との関係に注目しながら、本文を通読する。2「短編小説」が言った「小説ってのは小さな『窓』なんですよ。」とは、どのようなことを表しているか読み取る。3それを聞いた「僕」は何を考えたかを読み取る。4「ね、人は誰でも、ページ数を知ようのない、どのようのない、どのようなととない。とは、読み取る。5窓から外の風景を見ている		0	0	「知技」・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・情景の豊かさや心情の機像を表す語句の最を増し、文章の中で使うことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。 「思判表」・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確に捉えている。 「思記むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性に切える。「主」貼り強く「短編小説」が象徴するもの理解し、学習課題に沿する。「主」貼り出して文章を書こうとしている。	0	0	0	10
	定期考査						0	0		1

の知識や技能を言かさる。 を言かさる。表現想 を調えることがあることがあることがあることがある。 、判断りとともともとしている。 、はな力を含すがいる。 、はな力を含すがいる。 、はな力を含すがいる。 、はな力を含すがいる。 、はないである。 、はないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないである。 、は、のにないでは、のにないでは、のにないでは、のにないでは、のにないでは、のにないでは、は、のにないでは、は、のにないでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	ける理解 分が置かれた状況と同じ点、違うにする。 2 あらかじめ調べてきた語句の意味を確認し、漢文調を生かした言句の意味を確認し、漢文調を生かした言句の意味を明らかにする。 3 「語り」の変化を手がかりに、おったの思いや 本文をいくつかの場面に分け、おったのといる。 4 第一段に描かれた李徴の性格について発表する。 5 李徴がどのような経緯をたどって虎になったかをまとめる。 6 虎となった李徴の心情を考え		0	「知技」・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。・情景の豊かさや心情の機像を表通している。・情景の豊かさや心情の機像を表通している。・変を磨りまなな変にしている。・変がなな変にしている。・変がなが、での表明の方法について、体ののでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないのでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	0	0	0	10
の知識や技能を身に付けった。 でできるようできるようできるようできるようできるようできるようできるようできるよ	常の行動に込められた「わたし」の思いを読み取る。1 にいることを読み取る。2 「特別」がある。1 「作者と作象像しているものをきから読み取る。3 「わたし」の心情に着目しなる。1 「おいまである。2 「おいまである。2 「特別」のでは、1 「特徴的なリズムや表現に気をある。4 「特徴的なリズムや表現に気をある。5 「特徴的なリズムや表現に気をある。5 にであるとをいる。1 「作りであるとである。2 「神像的なリズムや表現に気をある。1 「作りであるとを読み取る解する。2 でいたことや表現の効果をしました。2 「おいたことや表現の効果をある。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 この特色とまる。3 このもかたことや表現の効果をある。4 このものものものものものものものものものものものものものものものものものものも			[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあるとを理解している。 ・情景の要章やで使うこる。通過して、我がいる。を増ききかな文を変更を変更を変更を変更を変更を変更を変更な変更な変更な変更な変更な変更がある。 ・大ののののでは、大変を変更な変更ができた。 ・文言語文を、大変を変更を変更を変更な変更ができた。 ・大のののののでは、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一		0	0	10

【知識及び技社と対している。 はいます とし文言と として をとるに で とり が しいの とし で で と で で で で で で で で で で で で で で で	を学習するのに必要な範囲で、特で者・作品について予備知識を持つ。 2 「こころ」についての概説と、本教材にころを選続、「私」とお嬢さんとの関係を理解する。 3 本文を通読し、話のを理解はしたがって、出てくるをでは、とび、自殺を主なたら、事のを知った時の「私」の行動・心理を整理する。 5 Kの自殺を知った時の「私」の行動・心理を整理する。 6 場所経緯とどの変化に注きしても場所を対し、「私」と「大きなどの変化に注きして、自場経緯を表し、「私」と「大きなどの変化に注きといく、「私・中では、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどの変化には、大きなどのでは、大きないないでは、大きないないが、まない、大きないないが、大きないないが、まないないないが、まないないが、まないないが、まないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	0	0	0	あるとを理解している。 ・情景の大きなでは、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すに、 を表すと。 ・文章を豊立ない体ののに、 をを磨りからな、 をを磨りである。 ・文の表でいる。 ・文の表でいる。 ・文の表でいる。 ・を理解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解して、 をを解解して、 をを解解して、 をを解析して、 をを解析して、 をを解析して、 をを解析して、 をを解析して、 をを解析して、 をのの書の。 ・方と、 をといて、 がなと豊かめ、 がな、 で、 ・方と、 をと、 をを解析して、 で、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	0	0	0	11
定期考查						0	0		1
に、我が国の言語文化に対する理解 を深めることができるようにする。	れている筆者の考されている。 を通読すいいる。 を通読すいいる。 を通読すいいる。 を通読すいいる。 を通説」という。 を通過」という。 では、一次では、一次では、一次では、一次ででは、一次では、一次では、一次では、一		0	0	「知技」 ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の語を増りたいる。 ・文語文化の特質について理解を整当な文章を書き語なとを通して、我がいる。 ・文語文化の特質について理解を踏まとの言語文化の特質について理解を踏まる。  「思判表」 ・「読むこと」において、作品の大学では、表して、おいて、作品ではに捉方なでいる。 ・「読むこと」において、作品がどに対する。 「定記、人間、社会、方を紹子とのて外もものの見方、感じ方、例と筆者の記している。場所で注意している。	0	0	0	14

3学期	「大神殿などはいる。 生涯に必要とも理ななととであるたる社会生活に必要なとも理ななとも理談や技能を言語さるようにする。 「思考力、判断力、表現力等したいとので表で、というにに、でいる力を伸進さいとができるようになられたがである。」である力を合う力を含みりませい。 「というできるようには、の自りすることがで考さるよう。」というである。 「学がになったがした。」というできました。 「学がに、できるというできました。 「学がに、できないできない。」ともことを自の担いているとして、また。 として、おいるとして、またのは、またが、またが、またが、また。 「学がに、の自覚にない、またが、またが、またが、またが、また。 「学がが、これで、またが、またが、またが、またが、またが、また。」として、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	に伴う心情の変化に注意しながら 本文を通読する。 2市子は結婚前の「朝の時間」の どのように過光でした。 それをどのように過じたかいで、 3結婚後の市力にいましていた。 3はかたかの「いきしとで、 3はかたりないで、 3はかたりないで、 3はかたりないで、 3にないを、 3にな 3にないを 3にないを 3にないを 3にないを 3にないを 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな 3にな	0	[知技] ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。 ・文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めている。 ・文学的な文章における文体の特徴や修辞などの表現の技法について、体系的に理解し使っている。 [思判表] 「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 [主] 進んで作品を読み込み、効果的に伝えるための構成や表現を工夫しながら、学習課題に沿って翻案作品を創作しようとしている。	0	0	0	
	定期考査						-	1 合計 70

## 高等学校 令和5年度 教科 国語 科目 古典探究

教 科: 国語 科 目: 古典探究 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 6 組

教科担当者: 角 坂元 名取 使用教科書: (「古典探究」東京書籍

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能】生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに,我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見 【思考力、判断力、表現力等】方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】文化の担い手としての自覚を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語

#### 科目 古典探究

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言		涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我

	単元の具体的な指導目標	     指導項目・内容		領域	芃	評価規準	Æπ	Ш	態	配当
	半九の共体的な指導日保	11等項口 71分	話:閩	書	読	計	М	心	恶	時数
	A 漢文 数 が 表 は また	1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き 下し、現代語訳する。 3桓公が「猿ノ子」を得た者を罷免 した理由を考える。 4「断腸」という故事成語の意味や 使い方を辞書で確認する。			0	□対支 ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解した。 解し、古典に用いられている語句の意味や用法を増すいる。 を通して、語を磨き語豊かにしている語句を語音豊かにした。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について、 で古典などを読むことを通して、我が国のの文化との特質条につために理解を深文がといる。 ・古典を読むたいて理解を深文語でいる。まりや別様をでいている。 ・お典を読むために理解を深文をいるきまりや別様をでいての特質条につために理解を深文をして、我が国の文化との関係を読むために理解を深変を化や。 ・時間の経過によるもたらした影響について。 ・時間の経過によるもたらした影響について、変を決めている。 ・時間の経過によるもたらした影響について、の言を深めている。 ・時間の経過によるもたらした影響について、意じ方, オラオ方方深めにある。 ・時間のをがいる。 ・た人自分のもの意とが、感じついて理解を踏らを踏られて理解をといて、表でに、対して、では、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、表で、		0	0	10
1 学期	B 古文 十訓抄 大江山の歌 【知識及び技能】 生涯は公式技能】 生涯にわたなき生に付ける話文とととといる。 に、我理解を深めることができる方、表現力感に力力を通り、 で表表した力を通り、 も典など方力を高めたりった力とができるにあり、 も典など方力を高めたりった方との自分のることができる方がある。 人間できながらないができる方がある。 とができる方がある。 とができるができるができるができるができるができるができるができるができるができる	1 定頼中納言の言動の内容を読み取る。 2 小式部内侍のとった行動を読み取る。 3 和歌文学,および和歌の技巧について理解する。			0	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増する。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の文の成分の順序や照応、文章の構成や展開の仕方について理解を深めている。 ・古典の文化会でを表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国の文化との関係について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、構成や展開などを的確に捉えている。		0	0	

定期考査  C 類文 故事と小話 蛇足 (知能) といまな社会生活による対な社会生活には言語を決定を担めたるとが表現共を他にのよりで表深力の関介ののように、表深の力の関介ののように、表別のの関介のように、表別ので表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関介のように、表別の関係を表別の関介のように、表別の関係を表別の関係を表別の関係を表別の関係を表別の関係を表別の関係を表別ので表別の関係を表別の関係を表別の表別の関係を表別の表別の関係を表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表別の表	1本文を正しく音読する。 2脚注を参考にしながら本文を書き下し、現代語訳する。 3「為ス二蛇ノ足ヲ者」が酒を失っ た理由を考える。		の考えや、日文で、		0		1 10
定期考査			に沿って、故事成語の成り立ちとその意義や、	0	0		1
D 古文 方丈記 ゆく河の流れ 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要なととれている社会生活に必要なととは付ける話を身にのないでは、 生涯にかたる社会生活に必要なととない。 一般で表現の場合のでは、 一般では、 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を 一を	3 「無常を争ふさま」とはどのようなことかを踏まえて、『方丈記』で描かれる「無常観」について考える。	0	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにして、語感を磨き豊かについてる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴についてる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について連解を深めている。 ・古典の女の成分の順序や照応、文章の。構成や、大章の代格では、大章の大力について重に表れている。言葉の響性の作品や文章に表れている。主力メム、いる。・古典などを読むことを通して、我が国の文化との関係にむために理解を深めている。・古典を認むことを通して、我が国の文化との関係にむために理解を深めている。・古典を読むことで理解を深めている。 ・古典を形むとと表現の特色に必要を深めている。・「読むこと」において、文章の名を確している。・「読むととの表現に注意して、確などを的できまりについて、はいて、文章などを説して、情報などと的に、において、文章の容を解している。・「読むこと」において、必要に応じて教をのきまえ、「読むこと」において、必要に応じて教を確している。・「読むこと」において、必要に応じて書きるとして、「読むこと」において、古典の作品や文章なえている。・「読むこと」において、古典の作品や文章の考えたば、大事の考えを広げているもの見方などに表れ、人間、ないの見かなどに表れ、人間、ないの見かなどにある。が表して記述のためらに記述のよりに対しているしたが、ないの見かなどに表れ、人間、ないの見かなどにある。が表しているもの見かなどの方が表しているしたが表している。		0	0	15
E 漢文 唐詩と文 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語 の知識や技能を身に付けるととも に,我が国の伝統的な言語文化に対 する理解を深めることができるよう にする。 【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり	3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形,押韻,対句の表現に ついて考える。 5 正確な現代語訳をする。 6 繰り返し朗読して唐詩の調べを理		[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解				

豊かに想像したりする力を伸ばし、 方はなどを通した先人の関わりの中の見力を高さいたり、 方、底でありまする。 方を高めたりすることができるようにする。 【学がはからりする。 【学がはからのでは、生涯にから、生涯にから、生涯にから、生涯にから、もりであり、ともに、生涯にからない。 日本に、生涯にからない。 なり自己というとしての自然を表し、生涯にからない。 なり自己というとしての自然を表し、生涯にからない。 なり、生涯にからない。 なり、生涯にからない。 なり、生涯にからない。 なり、生涯にからない。 なり、生涯にからない。 なり、なり、ない。 なり、ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。 ない。	7 訳詩を試みる。	0	・古典などを読むことを通して、我が国の文化との特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。 ・先人のもの見方,感じ方,考考え方に親しみ、自分のものの見方,感じ方,で理解を踏ら、表考される。 「思判表」・「語むこと」において、文章の種類を踏まれて、構成や展開などを的確に捉えの種類を踏まれて、情読むこと」において、文章の種類を踏まれて、情読むこと」において、文章の種類を踏まれて、「語むこと」において、作品の成立らいる。・「読むこと」において、作品の成立らいる。・「読むこと」において、作品の成立らいる。・「読むこと」において、古典の作品などとの関係を踏まえが、作品の個について考察している。・「読むこと」において、古典の作品や文章方を必要を終れているものの見方、感じ方の考えを広げたり深めたりしている。 「正] 進んでさまざ語感覚や想像力を豊かにして、言語感覚や想像力を豊かにして、言語感覚や想像力を豊かにして、言語感覚や想像力を豊かにして、古典の作品では、また、自然などに対って、言語感覚や想像力を豊かにしている。			0	1
下 古文 土佐日記 馬のはなむは   「知識及び技能】   生涯にわたる社会生活に必要なももにの知識ないはは   大変ととれ会生がはは   大変ととならに、   大変とない。   大変ない。   大変ないない。   大変ないないないないないないないないないないないないないないないないないないない	て知る。	0	「知技」 ・古典に用いられている語句な語句かに 古典に用いられている語句な語句かに で		0	0	15
G 漢文 唐詩と文 【知識及社会生活に必要な国語 と文 【知識及び技能】生涯にや技能と身にたる社会生活に必要な国語 に、 であるない。 できるない。 できない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるない。 できるなが、 できない。 できないない。 できない。 できないい。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できないい。 できない。 できないい。 できないい。 できないい。 できない。 できないい。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できない。 できないい。 できないいいいいい。 できないい。 できないい。 できないいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	1それぞれの作者について理解する。 2 詩を声に出して読む。 3 それぞれの詩の内容を捉える。 4 唐詩の詩形、押韻、対句の表現について考える。 5 正確な現代語訳をする。 6繰り返し朗読して唐詩の調べを理解し、暗唱する。 7 訳詩を試みる。	0	「知技」 ・古典に用いられている語句の意味や用法を増すいました。 解した通して、語感を磨きを響くを増すいる。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴についてきた。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴についても古典の作品や文章に表れている。 ・古典の作品や文章に表れているが、 ・古典の作品や文章に表れているが、 ・古典の作品や文章に表れているが、 ・古典の作品や文章に表れているが、 ・古典の作品や文章に表れているが、 について出たが、 の特質係について文化とを通して、我が、国の文化との関係について見方、感じ方、考考え方に発した。 ・先人のものの見方、病感じ方、考考え方に発しかいで表別である。 ・先人分のある意義と効用について発解を踏らいる。 「思書記こと」において、文章の種類を踏らいる。 「思書記こと」において、文章の種類を踏らいる。 「読むことと」において、文章の種類を踏ら、に対した古典の様が、 に「読むこと」において、作品の成がら出て、大きが、 に「読むこと」において、作品の成がらいて、 に「読むこと」において、作品の成がらいた。 ・「読むこと」において、作品の成がらいた。 ・「読むこと」において、作品の成がらいた。 ・「読むこと」において、作品の成がらいた。 ・「読むこと」において、方、感じ方、するとの、 ・「読れているもの、自然などにある。 ・「読表れているもの、自然などにる。。 「記表れているもの、自然などにある。 「記表れているもの、自然などにある。 「記表れているもの、自然などにある。」 「記表れている。」 「記表れているもの、自然などにないて、方、感じ方、する自分の表えを広げたり深めたりしきまなどに表れている。		0	0	
定期考査			双细胞 一年 一年 一年 一年 一年 171	0	0		1

σ	田 古職及び技能】 生物及び技能】 生物及び技能】 生物及び技能」 生物及び技能」 生物と生付ける能を身になる社会身にがなきといるよう。 にこれる社会身にある文字を表示する。 にこれる社会身にである。 生活に此や対しのといるとのである。 に思考的に表現共生を明断力、考えたののりのののののののののののののののののののののののののののののののののの	1本文を読み、作者の育った東国の生活について理解する。 2作者の物語への憧れについて整理する。 3門出にあたっての作者の心情を読み取る。 4作品全体の冒頭部分としての意味を考え、この日記の構造と主題を理解する。	0	[知技] ・古典に用いられている語句の意味や用金増解し、古典を読むために必要な語句の最大の語句のを増える。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・古典の作品や文章の表現の特色について理解を深めている。 ・古典の作品や文章に表現の特色について理解を深めている。 ・古典の作格をなどの表現の特色について理解を深めている。 ・古典などを読むことを通して、我が国国の文化を類似の特色について理解を深めている。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや問係について理解を深めている。 「問誌むこと」において理解を深めている。 「問誌むこと」において理解を踏られて、対外国の文化を読むために必要な文語のさまりについて理解を深めている。 「問誌むこと」において、文章の種類を踏られて、構成や展開などを的確、文章の容を的確に表現に対して、作品の成立らといる。 「読むこと」において、作品の成立らに出まる。 ・「読むこと」において、作品の成立らにおいて、方典の作品や文章に入ている。 ・「読むこと」において、作品の成立らにおいて、方面の成立らにおいて、方面の成立らにおいて、方面の成立らにおいて、方面の成立らにおいて、方面の成立らにおいて、方面の成立らに記して、方面の成立らについた。と「にないて、方面の成立らと」において、方面の成立らとしている。 ・「記して、方面の成立らに対して、方面の成立らとしている。) 「記して、方面の成立らとして、方面の成立らに対して、方面の成立らに対して、方面の成立らに対して、方面の成立らに対して、方面の成立らに対して、方面に対し、方面に対して、方面に対して、方面に対し、方面に対して、方面に対し、方面に対して、方面に対し、方		0	0	15
**	【知識及び技能】	2正しい訓読をもとに語彙を調べ、 正確に現代語訳する。 3それぞれのたとえ話が、元のもの よりも優れたものとなっている例 と、ものの性質は後天的に矯正する ことができる例であることを確認す る。 4主題をまとめる。	0	・古典に用いられている語句の意味や用法を増す 解し、古典を読むために必要な語句かにしている。 ・古典の作品や文章の種類とその特徴について 理解を深めている。 ・時間の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・時間の成り立ちにもたらした影響について理解を深めている。 ・先人のものの見方,感じ方,考え方に親しからで表表のでは、表現した。 解を深めている。 ・先人のものの見方,感じ方,考考之方に親しないする。 ・先人のものの見方,感じ方,考考之方に親した。 を深めている。 ・先人のものの見方,感じ方,考考之方に親した。 を深めている。 ・先人のものの見方,感じ方,考考之方に親した。 に対している。 「読むこと」において,文章の種類を踏らいる。 「読むこと」において,文章の種類を踏らいる。 ・「読むこと」において、文章の種類を踏らいる。 ・「読むこと」において、必要に応じ解表の時色に、 で、「読むこと」において、必要に応じないる。 ・「読むこと」において、必要に応じてまするともに、文章の構成や展開、表現の特色についる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などもに、文章の構成や展開、表現の特色についる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに対して評価といる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに対して評価といる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに対して評価といる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに対して評価といる。 ・「読むこと」において、古典の作品や文章などに対して評価といるものの見方、感じ方、する自分の考えを広げたり深めたりしている。 「主」進んで古代中国のさまざまずあまに知る。 ・「主」進んで古代中国のさまざまずあまに記述る。 ・「主」進んで古代中国のさまざまずまな事成語のは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またでは、またで		0	0	
	(스케크 II				0	0	-	1 合計 70

高等学校 令和 5 年度 教科 国語 科目 論理国語

 教 科: 国語
 科 目: 論理国語
 単位数: 2 単位

の目標:

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組:角) (2組:高橋) (3組:角) (4組:高橋) (5組:角) (6組:高橋) (7組:角) 使用教科書: (東京書籍「精選論理国語」 )

教科 国語 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚を もち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 論理国語

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	

	W	<b>火</b> 塔在口 土点		領垣	ţ	=== / m + p : #		_	44.	配当
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	話聞	書	読	評価規準	知	思	悲	時数
	いつもそばには本があった	読書の意義について筆者の主張を読 み取り、自分に引き寄せて考える。	0	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを理解している。 [思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 粘り強く哲学的視点に立った語句の意味や筆者の思考の筋道をつかみ、今までの学習を生かして自己の知識や読書経験と関連付けて、「読書」について自分の意見をまとめ、発表しようとしている。	0	0	0	6
	ミロのヴィーナス	・具体例に注目して筆者の主張を理解し、芸術の見方について考える。 ・書かれている内容を理解し、論理的に考えることの意義を知る。	0	0	0	[知識及び技能] ・言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考カ・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 進んで芸術における具体と抽象の関係性や、筆者の論の進め方を捉え、学習課題に沿って見えないものへと思考を広げる、芸術に対する見方を深めようとしている。	0	0	0	6
1 学	定期考査						0	0		1
期	相手依存の自己規定	具体的な事例と筆者の意見の関係に 注意して読み、言語と自我の構造に ついて考える。	0	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 積極的に筆者の意見と具体例の関連性を理解し、学習の見通しをもって調べた身近な例を整理・分析して自己把握についての考えをまとめ、他者に伝えようとしている。	0	0	0	6
	科学的「発見」とは	本文中の二つの課題を追体験して読み、科学的視点の持ち方とその意義 を理解する。	0	0	0	[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解している。 [思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確に捉えている。 [主体的に学習に取り組む態度] 進んで中心的主張と事例の関係、「問い」と 「主張」という文章の構造を理解し、学習課題 に必って科学的組占に立った。よのの目方や考	0	0	0	6

						にロン いけず#50元がにエンに, ロツツ元の 、つ え方を培おうとしている。				
	定期考査						0	0		1
	分人とは何か	提示された問いに注意して筆者の主 張を理解し、自分に引き寄せて考え る。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明した りすることを可能にする働きがあることを理解 している。				
			0	0	0	[思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえ 、内容や構成、論理の展開などを的確に捉 え、論点を明確にしながら要旨を把握してい る。	0	0	0	6
						[主体的に学習に取り組む態度] 進んで本文中の複数の問いと具体例の配置に着 目しながら、筆者独自の造語に基づく主張を結 み取り、今までの学習を生かして「分人」とい う観点から自分とその人間関係について考えを 深めようとしている。				
	メディアの変容	挙げられている事例と筆者の分析の 関係に注意して読み、人間関係の在 り方について考えを深める。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明した りすることを可能にする働きがあることを理解 している。 [思考力・判断力・表現等]				
			0	0	0	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。	0	0	0	6
						[主体的に学習に取り組む態度] 粘り強く筆者の論じる社会の変化と人間関係の 分析を理解し、学習課題に沿って人間関係を論 じる二つの文章の共通点・相違点を考察して、 人間関係の在り方について自分の考えを深めよ うとしている。				
2	定期考査						0	0		1
学期		対比に注意して論の展開をつかみ, 「リスク」という概念について理解 を深める。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明した りすることを可能にする働きがあることを理解				
						している。 [思考力・判断力・表現等] 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握してい			(	
			0		0	ス、	_	0	0	6
	「環境」とは何か	「環世界」などの概念に注意しなが ら筆者の主張を理解し、環境につい て理解を深める。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明した りすることを可能にする働きがあることを理解 している。 [思考力・判断力・表現等]				
			0	0	0	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 「主体的に学習に取り組む態度」	0	0	0	6
						粘り強く哲学的視点に立った「環境」に対する 筆者の主張を理解し、今までの学習を生かして 持続可能な社会環境の実現に向けた具体的な取り組みについて考え、話し合おうとしている。				
	定期考査						0	0		1
	「である」ことと「する」こと	例示と意見の関係を整理して主張を 捉え,変化する社会における人間の 在り方について考える。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明した りすることを可能にする働きがあることを理解 している。 [思考力・判断力・表現等]				
			0	0	0	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度]				8
						工手中のに子自に取り配び態度」 工項対立の診理展開や具体例と筆者の 主張との関係をつかみ、今までの学習を生かし て「である」価値と「する」価値について自分 に引き寄せて考え、現代社会に対する認識を深 めようとしている。				
3 学 期		筆者の提示する問題を読み取って整理し、メディアとスポーツの関係について理解を深める。				[知識及び技能] 言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解				

	0	0	している。 [思考力・判断力・表現等] ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [主体的に学習に取り組む態度] 積極的にスポーツとメディアという社会事象の分析を通した筆者の主張を読み取り、学習課題に沿ってスポーツについて具体例を挙げながら、自分の考えをまとめようとしている。	9
定期考査				1

#### 高等学校 令和5年度 教科 科目 歴史総合

科 目: 歴史総合 単位数: 2 単位 教 科: 地理歴史

対象学年組:第 1学年 1組~ 7組 教科担当者: (1組:山下) (2~7組:両角)

使用教科書: (帝国書院『明解歴史総合』 副教材『明解歴史総合図説シンフォニア』 ワークシート [)

教科 地理歴史 の目標:

【知 識 及 び 技 能】 歴史的な転換点の因果について理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に 調べまとめている。 歴史的事象の意義、及ひその特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、現 【思考力、判断力、表現力等】代社会に見られる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したりそれらを基 「議論したりしている。 に議論したりしている。 【学びに向かう力、人間性等】 る。 る。 歴史的事家を踏まえ、より良い在会の実現を視野に王体的に解決しようとしている。

科目 歴史総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
		歴史的事象を踏まえ、より良い社会の実現を視
	を、地形的関係、社会体制、人間と自然環境と	
際秩序の変化に基づいて生じていることについて理解しているとともに、諸史料から歴史に関	の相互関係、相互依存作用などに着目しつつ活 用し、多角的、多面的に考察したり、現代の諸	
	用し、多角的、多面的に考察したり、現代の語  課題の解決に向けて構想、考察したことを効果	
る技術を身に着けている。	的に説明したり、議論したりする力を養う。	
		エフル

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 市職及び技能】 市職及び技能】 市民社会と国際分業体制確りの 経緯についる。 理解としている。 【思力、判断力、表現力等】 市民革命・諸改革の是後の関決的を考察し現からの言葉で向から力を考察しる。 【学びに向かう力、人間性等】 市民革命や響と課題について、 治官を必要をとして、 はなどの関決力りを考察しる。 「学びに向から力、人間で等】 市民革命や響と課題について、 治院したいる。	: 指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命の影響と国民意識 の芽生え ③産業革命で変わる社会 ④イギリスの繁栄と国際分業体制 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、 ICT端末	欧米諸国における近代化 【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会 と国際分業体制確立の経緯について、資料を 読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 市民本命および産業革命の経緯などから、 諸改革の意義と現代社会との関わりを考察 し、みずからの言葉で表現している。 【主体本的に学習に取り組む態度】 市民本命や産業革命が、現代社会に与えた 影響と課題について、追究しようとしている。	0	0	0	5
1	近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の段開と帝国主義による世界会制や大阪についる。 【思考力、判断力、表現力等】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題につい	・指導事項 ①1848年〜近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第二次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・教材教科書、副教材、ワークシート、ICT端末	近代化の進展と国民国家形成 【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割 や移民の状況について資料を読み取り、理解 している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。	0	0	0	8
学	定期考査			0	0	0	1
期	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識及び技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸 国の変容について、資料を読み取り、理解している」、 【思考力、判断力、表現力等】 「西で、アジア諸国の変容を比較したり関連付けたを表現している。 《学びに向いる方、人間性等】 欧米諸国の推出とアジアといる。 【学びに自のがきなり、選手できる。 【学びに自のがきなり、というできる。 【学びに自のがまる。 【学びに自のできる。 【学びに見のできる。 【学びに見のできる。	・指導事項 ①「西洋の衝撃」と西アジアの変化 ②南・東南アジアの植民地化 ③ヨーロッパの日本接近とアヘン 戦争 ④黒船の来航と日本の対応 ⑤新体制の模索と江戸幕府の滅亡 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、 ICT端末	アジア諸国の動揺と日本の開国 【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容に ついて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 「西洋の衝撃」の歴史的意義について、ア ジア諸国の変容を比較したり関連付けたりし て考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が、現 代社会に与えた影響と課題について追究しよ うとしている。	0	0	0	8
	は近代化が進む日本します。 近代化が進む日本します。 明治維新との後の日本の変化 やアジア諸国の変容について。資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現意義に関連でいる。 【思考力、判断力、診響と関連でいる。 【思考力、判断力、診響と関連でいる。 「大、現代の日本への影響と関連ではいる。 で、現代の日本のが影響と関連である。 「学びに向かう力、人間性等」 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響と課題 定期考査	・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と芯の近代化と日清戦争 ④列強の中国進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、 ICT端末	近代化が進む日本と東アジア 【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸 国の変容について、資料を読み取り、理解し ている。 【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の 日本への影響と関連付けて考察し、みずから の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会 に与えた影響と課題について追究しようとし ている。	0	0	0	7
$\vdash$	第一次世界大戦と日本の対応	  ・指導事項	  第一次世界大戦と日本の対応	U			1
	知識及び技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。	1日等事項 (1)ドイツの挑戦とバルカン半島の 緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ・教材	知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】				

国際協議と大衆社会の広がり   指導専項		【思考刀、判断刀、表現刀等】 第一次世界大戦の総力戦体制下 において、列強の戦闘員・列強の 非戦闘員・植民地や従属地域の 人々がそれぞれどのような目的で 戦争に協力したのかについて考察 し、みずからの言葉で表現してい る。 【学びに向かう力、人間性等】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆	教科書、副教材、ソークシート、 ICT端末	第一次世界大戦の総刀戦体制トにおいて、 列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従 属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦 争に協力したのかについて考察し、みずから の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加 が、現代社会に与えた影響と課題について追 究しようとしている。	0	0	0	5
日本の行方と第二次世界大戦	学	国際協調と大衆社会の広がり 【知識及び技能】 ヴェルサイユ体制によって形成 された国際秩序と、国際社会の変化に生じた政治者を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 新しいて考察し、みずからの言葉で表現している。 【思考しているの、】 「ヴェルサイン・、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東・インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治 参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁 栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際 秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社 会・文化の変化について、資料を読み取り、 理解している。 【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について 考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立 と、20世紀前半における大衆社会の到来 が、現代社会に与えた影響と課題について追	0	0	0	8
出職及び技能    世界思徳から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに著目しながら、資料を読み取り、理解している。   【思考力、判断力、表現力等] ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、大衆がなぜ戦争に適力していったのか考察している。					0	0	0	1
プローバル化と私たち 【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、 そのなかでの日本の高度経済成長 や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 冷戦下における各国の動向が、 定期考査  「アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、 ICT端末  「会戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 「主体的に学習に取り組む態度」 ト帝戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。 「主体的に学習に取り組む態度」 ト帝戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。		【知識及び技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに理しながる。 目しながる。 【思考力、判断力、表現力等】 ファシズム体制の形がぜ戦争に至るまで、大衆がなぜ戦争にている。 【変るまで、大衆がなぜ戦争に対していったのか考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びた何かう力、人間性等】世界恐慌後の争協力が、現代社会な大衆の戦争協力が、現代社会など、大衆の戦事間だついて追奏を	①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治の断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨 禍 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	【知職・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至る までの経緯について、大衆とマスメディアの 関わりに着目しながら、資料を読み取り、理 解している。 【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るま で、大衆がなぜ戦争に協力していったのか考 察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 世界恐慌後の各国の政治的判断と、大衆の 戦争協力が、現代社会に与えた影響と課題に		0		15
【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、 そのなかでの日本の高度経済成長 や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、入ずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 合戦下における各国の動向が、 定期考査  ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、入ずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとしている。  1 合計		定期考査			0	0	0	1
定期考査       ○     ○     ○     1       合計	学	【知識及び技能】 冷戦下の緊張と緩和の経緯と、 そのなかでの日本の高度経済成長 や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【学びに向かう力、人間性等】	①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題 ・教材 教科書、副教材、ワークシート、	冷戦下の緊張と緩和の経緯と、そのなかでの日本の高度経済成長や、脱植民地化を目指す動きについて、資料を読み取り、理解している。 【思考・判断・表現】 冷戦下の世界と日本の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、みずからの言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦下における各国の動向が、現代社会に与えた影響と課題について追究しようとして	0	0	0	5
					0	0	0	

## 高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1組:山本・春田)(2組:春田・山口)(3組:生天目・山本)(4組:生天目・山口)(5組:山本・生天目)(6組:山口・生天目)(7組:山口・山本)

使用教科書: ( 数学 II Standard (東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学Ⅱ の目標:

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1	1章 方程式・式と証明 【知識及び技能】 簡単な高次方程式について因数 定理を用いてその解を求められる ようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 等式や不等式が成り立つことを 論理的に考察し、証明できるよう にする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。	<ul> <li>・指導項目 1節多項式・分数式の計算 2節2次方程式 3節高次方程式 4節式と証明</li> <li>・使用教材 教科書及び問題集</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 様々な定理や公式を有効に用いて、正しく 計算することができる。 【思考・判断・表現】 日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、 方程式を問題解決に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとす る姿勢が見られる。	0	0	0	24
1 学	定期考査			0	0		1
期	【知識及び技能】 直線や円を方程式で表すことが できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 座標平面上の図形を、方程式で 表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。	<ul> <li>・指導項目 1節点と直線 2節円 3節 軌跡と領域</li> <li>・使用教材 教科書及び問題集</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 座標平面上の直線や円を方程式で表すことができる。軌跡を求めることができる。 【思考・判断・表現】 図形の性質や位置関係について考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	24
	定期考査			0	0		1
2		<ul> <li>・指導項目 1節 三角関数 2節 加法定理</li> <li>・使用教材 教科書及び問題集</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 三角関数の加法定理や2倍角の公式を適切に活用することができる。 【思考・判断・表現】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	27
学期	定期考査			0	0		1
	4章 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数を正の整数から有理数へ拡 張する意義を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連づけて 考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。	<ul> <li>・指導項目 1節 指数関数 2節 対数関数</li> <li>・使用教材 教科書及び問題集</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 指数や対数の方程式・不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 指数と対数を相互に関連づけて考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとする姿勢が見られる。	0	0	0	28
	定期考査			0	0		1
3 学期	問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。	<ul> <li>・指導項目 1節微分の考え 2節積分の考え</li> <li>・使用教材 教科書及び問題集</li> <li>・一人1台端末の活用</li> </ul>	【知識・技能】 導関数を用いて、関数の値の増減や極大・ 極小を調べ、グラフをかくことができる。 【思考・判断・表現】 積分の考えを用いてグラフで囲まれた図形 の面積を求める方法について考察することが できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 問題解決に向けて意欲的に取り組もうとす る姿勢が見られる。	0	0	0	32
	定期考査			0	0		1
							合計 140

高等学校 令和5年度 教科 数学 科目 数学B

教 科: 数学 科 目: 数学B 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 7 組

教科担当者: (山口)

使用教科書: (数学B Standard (東京書籍)

教科 数学 の目標:

【知 識 及 び 技 能】数学における基本的な概念や原理・原則を体系的に理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】問題解決の過程を振り返って考察を深め、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を育てる。

科目 数学B の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
等差数列や等比数列の一般項や和と関連づけて 統合的に捉えることができるようにする。事象	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察できるようにする。確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断することができるようにする。	論拠に基づいて判断しようとする態度を育て

1章 数列 【知識及び技能】 等差数列と等比数列について理解させ、それらの一般項や和を求められるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、その規則性を数学的に表現できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 事象から離散的な変化を見出し、その規則性を数学的に表現できるようにする。 【連挙を対してする。 【連挙を対している。」 ・一人1台端末の活用して意欲的に取り組むきをする。 「連解決に向けて意欲的に取り組むうとする姿勢が見られる。	0	0	
【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。		0	12
1 学 定期考査	0		1
1 章 教列	0	0	12
定期考査	0		1
1章 数列 2章 統計的な推測 【知識及び技能】 漸化式で表された数列の一般項を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 数学的帰納法を用いた証明について考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 2 組めるようにする。	0	0	13
定期考查 期	0		1
2章 統計的な推測 【知識及び技能】 確率変数と確率分布について理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 確率分布の特徴を平均や標準偏差で考察できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決に向けて粘り強く取り 組めるようにする。	0	0	14
定期考査	0		1
2章 統計的な推測 【知識及び技能】	0	0	14
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	0		1
			合計 70

科目 物理基礎

**エ 14** 単位数: 2 単位

高等学校 令和5年度 教科教 科: 理 科 目: 物理基礎対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組教科担当者: (1~6組:上平) (7 組:若杉)使用教科書: (第一学習社 (組: ) (組: ) (組: )

教科 理 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 自然の事物、現象から疑問を見いだすことができ、その疑問に対して仮説を立てることができる。

【学びに向かう力、人間性等】 グループワークや実験において自分の意見を発表する等、周囲に対して配慮しながらコミュニケーションをとることができる。

科目 物理基礎 の目標:

【思考カ、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物、現象について疑問を見出し、その疑問に 学習に向かう努力ができる。 対して仮説を立てることができる。 実験やグループワーク等において協働的な行動をとる 自然の事物、現象と法則をつなげることができる。 ことができる。 【知識及び技能】 自然の事物、現象についての基本的な概念や法則を 身に付ける。 実験器具を安全に使用することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
	単元 物理量の測定と扱い方、物体の運動 ・速さと時間、移動距離の関係の計算 ができる。 ・身近な物理現象について考える。	指数、有効数字、物理量の計算 平均の速度、瞬間の速度、速度の合 成、相対速度	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	6
1	定期考査			0	0		1
学期	単元 物体の運動、力と運動と法則 ・直線運動について理解させる。 ・物体が直線上の運度するときの加速 度を計算できる。 ・等加速度直線運動についての計算が できる。	速度の合成、相対速度、加速度、等加速度直線運動の速さと距離	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	9
	定期考査			0	0		1
	単元 力と運動と法則 ・物体に働く力を作図できる。 ・運動の3法則を知る。 ・運動方程式をつくれる。	カの合成と分解、運動の法則、作用反 作用の法則、摩擦力、運動方程式	<ul> <li>【知識・技能】</li> <li>計算をする。</li> <li>【思考・判断・表現】</li> <li>仮説を立てる。</li> <li>【主体的に学習に取り組む態度】</li> <li>学習に対して努力する。</li> <li>協働作業をする。</li> </ul>	0	0	0	14
	定期考査			0	0		1
2 学期	単元 エネルギー ・仕事を知り、計算できる。 ・力学的エネルギー保存の法則を理解 できる。 ・熱量の計算ができる。	運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギー保存の法則、比熱、熱容量、熱量、熱力学第一法則	【知識・技能】 計算をする。 【第キ・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	11
	定期考査			0	0		1
	単元 波の性質、音波 ・波の性質を知る。 ・波の性質を知り、音波を考えられ る。	波の分類、波の性質、音速、音の3要素、音の性質、固有振動数	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	9
3 学期	単元 電気 ・オームの法則を使える。 ・発電方法を知る。	電荷、電流、抵抗、オームの法則、合成抵抗、電力量、電流と地場、さまざまなエネルギー	【知識・技能】 計算をする。 【思考・判断・表現】 仮説を立てる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習に対して努力する。 協働作業をする。	0	0	0	6
	定期考査			0	0		1
							合計 60
							60

## 高等学校 令和5年度 教科

保健体育 科目 体育

単位数: 3 単位

教 科: 保健体育 科 目: 体育 

 教 科: 保健体育
 科 目:

 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者:飯塚・阿原・吉田・赤峰

使用教科書: (大修館書店 ステップアップ高校スポーツ2022

教科 保健体育

の目標:

【 知 識 及 び 技 能 】 運動の合理的、計画的な実践を通して運動の楽しさや喜びを深く味わい、体力の必要性について理解しようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。

科日 体育 の月標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
指し、運動の楽しさや喜びを味わおうとする。 運動の多様性や体力の必要性について理解し、	運動を通して自分を知り、自己の課題にあった 解決方法を見つけることができる。グループ活 動を通して、自己の考えを他者に伝える力を養	カしてスポーツを楽しみ、仲間を大切にでき
それらの技能を身につけようとする。	つ。 これまでの活動を振り返り、改善策を考え実行 することができる。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
A 男 陸 (2単位)	○短距離走 ・	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜のあ方、海側線の向上や競争の楽しさやあるあ方、体力の高め方、体力の高とができてを理解するととができている。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどを理解するとを発見し、工場の事ともできている。 【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの向けて運動の取り組みを発力を指しているととができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主の考えたことともに、一様では、勝をなどを冷静に受け止め、ループをするととができている。とないでした。とないでもないにした。といる。 【学びに向かう力、人間性等】 を大切に向かう力、人間性等】 を大切に向から力、人間と等しまった。 「学びに向から力、人間と等しました。」とを一様にした。こととができなどを冷静に受け止め、ループをしている。	0	0	0	6
B 男子 放送 と で で で で で で で で で で で で で で で で で で	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを送ること。 ・空いた空間に向かってボールを空間に向かってが。分の体見をがらが出れて、味方と相手の動きを見ながらボールをもでがらブすること。 ・酸形を整えるためにボールを他の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法能など理解するとともに、作職に応た技能で中間と連携しゲームを展開することができている。  【思考力、判断力、表現力等】 攻防な解決に向けて運動の間の考えたことを発にに、自己やチームの取り組み方を上とを表した。  【学びに自立めに取り組むとともに、フェ戦技に向かう力、人間性等】 球技に自主的にしようともこと、すると、レー人の違いに応じたプレイを入場と、「この違いに応じたプレイをいるようとを表切にこと、互いに力ようとを表している。  「学びに自立めにいた。」  「学びに自立がよりません。」  「学びに自立がよりません。」  「学びに自立がよりません。」  「学びに自立がよりません。」  「学びにもいただいません。」  「学びにもいただいません。」  「学びにもいただいません。」  「学びに自立がよりません。」  「学びにはないません。」  「学びにはないません。」  「学びにはないません。」  「学びにないません。」  「	0	0	0	100
C 男子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜び を味わい、技術の名称や行い方、	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前 方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとら	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい, 技術の名称や行い方,体力の高め方,運動観 察の方法などを理解するとともに,効率的に				

体刀の局の万、運動観察の方法などを理解するとともに、 効率的に泳ぐと。  【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間向向けて運動した。 人の自己を解決するを他者を重要的な可能を変更を変更がある。 人間性等ととに、 人間性をといる。 【学びに向からに冷を対している。といるがに自主的に冷を対して、といった。といった。というのでは、ないかで、というのでは、ないかで、というのでは、ないかで、というのでは、ないかで、というのでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないうのでは、ないかで、というのでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかでは、ないかができないかでは、ないがでは、ないかでは、ないがでは、ないがでは、ないかでは、ないかでは、ないがではないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは、ないがでは	ス、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカルなキックを打つこと。 ・肩のローリングを使って最小限の頭の動きで呼吸を行うこと。  ○平泳ぎ・キックは足の裏で力強くけること・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく進むこと。・スカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	承ぐとかできている。 【思考力、判断力、表現力等】  泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工伝えるとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 【学びに自主的に取り組むとやマナーを表では自主的に取り組むとやマナー果たをできている。 【学びに自主的に取り組むとをもに、勝敗などに自主的にかり止め、ルール責任を果た理によることすること・一人一人の違いに応じた。水泳の事故防止に関することができている。	0	0	0	10
D 男子 がドミントン(1単位) 【知識を競う楽さいを味わらればいから、体をとを を対す、とさればいから、とをを がい、技術の名称祭作で、からなどで、体がでには、から、ととも携しが、大きとも携しがで、はがから、などで、はがいから、でで、から、とも携しが、表現のには、とを 、一切の、大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・大・		【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい,技術の名称や行い方,体力の高め方,運動観察の方法能称や行い方,体力の高め方,運動観察の方法能された。 などを理解するとともに,作戦に応とがででいる。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防ながの自己やチームの課題を発見し,不となり、本のでは、大の自己です。 理的な解決に向自己を仲間の考えたことをを表えることができている。 【学びに自かう力、人間性等】 球技に自から力、人間性等】 球技に自から力、外間性等】 などを大の違いに応じたプレリナイないの違いに応じたプレカイなを教え合することができている。 【学び自幸が郎にしようととを教えにおうとすること、女の違いに応じたプレカイなを教え合すること、は、方とすること、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	8
A 女子 陸上競技 (2単位) 【知識及の向上や技術の名画的方人との発生の名称観察の方法な行向の各とに は 別別の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の名の	○短距離走 ・合理的なフォームを身に付け、個人のタイムを短縮し、競走できるようにする。 ・スタートグッシュは地面を力強こして、徐々に状態を起こして神速できるようにする。 ・疾走後半でスピみのないリズミカルな動きで走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、観察の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けることができている。  【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間のの取り組み方と工伝、動か解決に向けて運動の取り組み方を工伝をを出ている。  【学びに向いう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取りルールやマ任を果た、 政などをしようとすること、の責任になどや、 題や挑戦を大切にしようとすることができている。  「整上競技に自主がに取りれたの責任などを果た課、 大切にしようとすることができている。	0	0	0	

B 女子 バスケットボール (2単位) 【知識などによった。 (2単位) 【知識を競術の運動に、 (2単位) となぞ行う方。などを味わい、 (2 単一位) となぞ行う方。などを味わい。 (2 単一位) を強い、 (3 単一位) を強い、 (4 世界) を連続した。 (4 世界) ととを他に、 (5 世界) を運動に、 (6 世界) ととを他に、 (6 世界) といった。 (7 世界) といった。 (8 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) といった。 (2 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) とを他に、 (2 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) といった。 (1 世界) とを他に、 (2 世界) といった。 (2 世界) とない。 (2 世界) とない。 (2 世界) といった。 (4 世界) といった。 (5 世界) といった。 (6 世界) といった。 (6 世界) といった。 (6 世界) といった。 (7 世界) といった。	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと間にパスを ・味方が作り出した空間にパスを ・安かた空間に向かってボールを 送ると、空いた空間に向かってさと。 ・守備者とボールの間に自分の体見 ながらボール をキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他 の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 膀敗を競う楽しさや喜びを味わい,技術の名法を競う楽しさや喜びを味わい,技術の方法能称や行い方,体力の高め方,運動観察の方法能で中間と連携しゲームを展開することがででいる。  【思考力、判断力、表現力等】 攻防な解決に向けて運動の取り発力をともに,自むな解決に向自己やチームの課題を発見し、工変的な解決ともに。自むできている。  【学びに向かう力、人間性等】 球技に自主的に取り組むとともに,中戦なアレイを大切にしようともと、すると、イー人の違いに応じたプレイをいる強いに応じたプレイをいる。  「などーないる。」  「などを大切合さること、東京といいる。」  「などを大切合さること、東京といいる。」  「などを大切合さること、などを大切合さること、東京といいる。」  「などができている。	0	0	0	
C 女子 水泳 (2単位・1単位) 【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい。大教術の自生や競争の楽しさや高びを味力の高めするとともに、効率があるとともに、効率があるとともに、対し、大力を理なが、大力を理なが、大力を理なが、大力を表現の要がある。 「思考力、判断力、伸門にするとをがある。」 「思考力、判断力、神の課題を発動のようなとなら、自己の事のはととを他者にある考えたことを他者にして、といいらいに、ないに、ないに、ないに、ないに、ないに、ないに、ないに、ないに、ないに、な	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前 方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとら え、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持しクを使って最小 にの頭頭の動きで呼吸を行うこと。 ・『の動きで呼吸を行うこと。 ・平泳ぎ ・キックは足の裏で力強くけること。 ・全体的に1回の動作で大きく。 ・シークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい, 運動観に大くないない。 (本力の高め方,運動観に、 (本力の高ができている。) 【思考力、判断力、表現力等】 泳法などを理解するとともに,効率的に、 (本力の高のでは、 (本力の自己や仲間の課題を発見し、合理するととができている。) 【学びに向けて運動の取り組むようを工会を必ずできている。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに,勝敗などにきた治疗に対しまり、 (力を大そうや状を治疗とする人人の違いにたま、 (本学がにまた、 (本学がにもまた、 (本学がには、 (本学がには、 (本学がになどを、 (本学がになどを、 (本学がには、 (本学がになどを、 (本学がになどを、 (本学がなどに、 (本学がなどを、 (本学がなど) (本学がなど) (本学がなど) (本学がなど、 (本学がなど) (本	0	0	0	
D 女子 (1単位) 【知徳及 (1単位) 【知徳及びを味わいた。 (1単位) 【知徳及びを味わいた。 (1単位) を	○卓球 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所や和らった場所に打ち返すこと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールの侵入を防いだけること。 ・ネットけ近でボールの侵入を防いだり、打ち返した強く振っまり。いたり、打ち返した強く振っまり。いたり、打ち返したりが記したり、ボジションの役割に応じて、おっちりつないだり打ち返したり。 ・ボットは打ちないだり打ち返したりすること。 ・ブリーの中で、味方の動きに合わせてコート上の空いている場所	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名法を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名法を競の方、体動しまったができるという。 はいます (本)	0	0	0	

E. 男女体つくり運動(2単位) 【生生位) 【生活に生活に生活に生態である。 「知識及び技能】 実もいれのとあの。 「知識ないて、体力のでは、進名を表現して、体力のでは、地方のとかのである。 「自己のでは、他方のでは、他方のでは、他方のでは、他方のでは、一個では、他方の	の改善も含め、休憩時間や家庭などで日常的に行うことができるよう効率のよい組合せで運動の計画を立てて取り組むこと。 ・調和のとれた体力の向上を図ったり、選択した運動やへあったり、選択した運動やながあるとめに、効率のよい組合せやバランスのよい組みで運	【知識及び技能】 実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】自己を発力を発力を入ったまするととものは、自力では、自力では、自力では、自力では、自力では、自力では、自力では、自力で	0	0	0	12
--	---	--	---	---	---	----

A 男子 水水は (2単位) 【知識の (2単位) 【知識の (2単位) 】記録の比較 第一の 楽しさや 喜び を味からない 表現の 知識 (2単位) を味から (2単位) 記録の (2単位) の 表現 (2単位) を味から (2単位) を味から (2単位) を味から (2単位) を明める (2単位) では (2単位) を明める (2単位) を明める (2単位) を明める (2単位) を明める (2単位) を明める (2単位) では (2単位) を明める	方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、加速するようにかくこと。 ・流線型の姿勢を維持して、しなやかでリズミカルなキックを打つこと。	【知識及しな記』 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい, 技術の名称や行い方,体力の高め方,運動観に がぐとができている。 【思考力、判断力、表現力等】 泳なともに,分を押間の課題を発見し,二人の をはいる。 【思考とに自己の考えたことを他者に伝え ることができている。 【学びに向かう力、人間性等】 水泳な解決に向から力、人間性等】 水泳はできている。 【学びに自かのに取り組みなどともに,勝敗などに自主のであり組かとともできている。 【学びに自かのに取り上でなどであり上でならなどであります。 大学がに自立の考に応じた来、題様かししようとと、しようとと、しますることできることを必求を 事故防止に関することができている。	0	0	0	9	
B 男子 バスケットボール (2単位) 【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや言びを味わい、技術の運動を受けると連携に、作り、 大手を関して、 「と連携に、 「と連携に、 「と連携に、 「と連携に、 「とををとします。 「とをもに、 「ないに自立ることをを発動の取りでは、 「ないに自立ることをを発動の取りでは、 「とないになどで、 「ないには、 」とないにのとし、 「といいには、 」とないには、 「といいなど、 」とないになど、 「といいなど、 」とないなど、 「といいなど、 」とないなど、 「といいなど、 」とないなど、 「といいなど、 」と、 「といいなど、 「といいなど、 」と、 「といいなど、 「といいなど、 」と、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 」と、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 「といいなど、 」と、 「といいなど、 「といいないないないないないないないないないないないないないないないないないない	・防御をかわして相手陣地やゴールにボールを運ぶこと。 ・味方が作り出した空間にパスを 送ること。 ・空いた空間に向かってボールを ・空いた空間に一ので運びと。 ・守備者とボールの間に動きを を入れて、味方と相手の動きを を入れず、ルル をキープすること。 ・隊形を整えるためにボールを他 の空間へ動かすこと。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名法統の会にない。 大大の高め方、運動観応じたでは、作戦に応ことができなどを理解することができまれている。 【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチームの課題を発見し、大大の自己やけて運動の取り考えたことができている。 【要などの自己や仲間の書きを発見し、大大の場合に向いてであり、利用性等】 などに向からからないできている。 【学びに向からかり、人間性等】 球技に自主的に取り組むともこう、でなどでは自主的に取り組むともこうとできないと、するなどのについての話いにであれている。 【学びに自立いの違いとに貢献しているというさん。」 「神経・大大のなどの情報・安全を確保することなどや、健康・安全を確保することができている。	0	0	0	12	
C 男子 森道 (1単位) 【知識及び技能】 柔道 (1単位) 【知識及び技能】 柔美之 (1単位) 【柔道 (1単位) 【柔道 (1単位) 【柔道 (1世位) 【柔道 (1世位) 【柔道 (1世位) 【柔道 (1世位) 【柔道 (1世位) 《表 (1世位) 《表 (1世位) 《表 (1世位) 《高 (1世位) 《 (	・相手の動きの変化に応じた基本動作ができるようにすること。 ・得意技を用いて、相手との攻防をすること。 ・得意力と。 ・自己計画的な解題を発見し、合り組み方を計画的な解決に向けて取り組み方を事直し、礼法などの伝統的な行動の仕方を大切にしようと。	【知識及び技能】 柔道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解することができている。自己の完成に応じて、適切な課題を持ち、適切な完正でさると、適切なになっているとの表してできるよう、「とびにして、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表して、表	0	0	0	12	

A 女子 水泳 (2単位) 【知識及び技能】の楽しさや喜びを味力に大統の上や競争の楽したでいたなどを味わい、技術の運動観に、体力の解解の効率が高端するとと、と考力、利用では、大きないのでは、大きないかでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないいのでは、大きないのでは、ないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、大きないのでは、ないのではないのではないのではないのでは、ないのではないのではないのではないではないのではないのではないのではないのではな	○クロール ・手は遠くの水をつかむように前方に伸ばすこと。 ・肘を曲げて腕全体で水をとらえ、流線型の姿勢をは持りの重なってこと。 っ肩の動きで呼吸を行うこと ・平かでは足の裏で力強くけきく、キックは足の裏で対してもはとの裏ですがです。とと、中間のがは足の裏で力強くけきくスカーリング動作を伴ったストロークを行うこと。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい,接術の名称や行い方,体力の高め方,運動観察の方法などを理解するとともに,効率的に 、	0	0	0	
B 女子 グンなに (2単位) 【知識でないかで (2単位) 【知識で で り、みんな 高い で り、みんな 高い で で かい	・創作ダンスでは、表したいテーマにふさわしいイメージを捉え、個や群で、対極の力を空間に表にしたが変化をつける強調した作り、イメージを強調した。 は、りばからが、イメージを強力となった。 は、りばからなりば、強弱して全とないが、リズムの特別を強変化とまりして関係したりとがない。 でいる はいり はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	【知識及び技能】  感じを込みで踊ったり、みんなで自由に踊っる名 たりする薬 知りの特徴と表現の仕方、突高め方 称や用語、理動領察の方法、体力の高深とと を変更理解する通した交流や発表をすることた できている。  【思考かの自己や中間の歌題組み方をとを できている。  【思考がに向け己で運動の取り表えたこと 表現解決に向け己でです。 、「生きなどのできている。  【ののでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないに、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは	0	0	0	
C 女子 ソフトボール (1単位) 【知識及び技能】さや喜びを味わいまない。 (1単位) 【勝敗を競う楽しかや行い方体ととれる内で、体どで開発を強の不動する中間、としまれる。 (1世紀)	○ソフトボール ・身体の軸を安定させてバットを振りをなこと。 ・投えるらった方向にボールを打ちを落とされるらった方向にボールを打ちを落とさいる。 ・スプによっているでは、一次で型間を描くいでは、一次では、一次では、一次では、一次では、一次では、一切り方と、一切り方とと、一切り方とと、一切り方とと、一切り方とと、一切が大きを変して、一切が大きをできない。 ・指は方の進むために、また。一般では、一中では、一切がある。	【知識及び技能】 勝枚を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名法を競う楽しさや高め方、運動観察の方法能を競り、体力の高め方、運動観察でた技能を理解するとともに、展開することがで中間と連携しゲームを展開するとともに、保護を発見し、工場のは、大力を発力を発力を発生している。  【思考力、判断力、表現力等】 理的な解決に向自己でチームの限額を発見し、工場では、力を発力を工をを発力を工作している。  【学びに自かう力、人間性等】 ま技に自主がいたプレイなともに、フェアなどーしたの違いにたプレイなとを教え合との話にいたプレイなの違いにありまうとするといにおうとったが、健康・安全を確保すること、人一人の違いことができている。	0	0	0	

	A 男子 座正規( (2 単位) 【知識など技能】 記録の切れ、		【知識及い技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、競術の名称や行い方、体力のもに、各ない。技術の名称やどを理解するととができている。 【思考力、判断力、表現力等】 動な経験に向けて運動を発力をともできる。とができている。 【思考がとの向けで運動を発力をととができるととができている。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自至の方が、自己にいる。 【学びに向からす力、人間性等】  をとしようとができなどしようともに、一果た課  大切にもなどしようこと、自己違いこなどや、 をを全を確保することができている。	0	0	0	10
	B 男知 (1単位) 【知該及び接能】 「財政を競売の名称を味わいたなど、 できながを味われるを表示などでをいか、 などでは、 できないの高解ができる。 「など、 できないの高解が、 できないのでは、 できないが、 できな	○卓球 ・サービスでは、ボールをねらった場所に打つこと。 ・ボールを相手側のコートの空いた場所に打つこと。 ・水ールを相手側のコートの空いた場所やねらった場所に打ち返す ・ 攻撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にボールの侵入を防いだり、打ち返したりすること。 ・ 施やラケットを強から相手側のコートに打ち、影やラケットを強から相手側のコートに打ちと。 ・ がジションの役割に応じて、拾ったとと。・ ラリーの中で、味方の動きに合かせてコート上の空いている場所をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、技術の名名 然や行い方、は動観察の方法能を競う楽しさや高め方、運動観察の方法能で中間と連携しゲームを展開することができている。   【思考力、判断力、表現力等】 攻防などの自己やチーム動の取り考えたことがで自己ができている。   【学びに自対できている。   【学びに向かう力、人間性等】   球技に何かう力、人間性等】   球技に自立しようとともに、ア作戦と、アなど一人を大の語合いにしようとまったとがでもないたがありないにかがよりなどを大切において、互いについ人の違いにたが、とすることをを確保することができている。	0	0	0	10
3学期		○長距離 ・リズミカルに腕を振り、力みのないフォームで軽快に走ること。 ・呼吸を楽にしたり、走りのリズムを作ったりする呼吸法を取り入れて走ること。	【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜高め方,各 い、技術の名称や行い方,体力の高したできてい 動観察の方法などを理解するととができている。 【思考力、判断力、表現力等】 動きな解決に向自己で基本を他者を見し、工伝 のまたととができている。 【思考な解決に向自己の考えたこととを他表さととができなととがでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主のより組むとともに,中を対したいを責任がとしようとができなどとようこと、一人一人とすることができなどをようとすることができている。	0	0	0	

B 女子 (1単位)	・サービスでは、シャトルをねらった場所に打つこと。 ・シャトルを相手側のコートの空いた場所に打ちとと。 ・文撃につなげるための次のプレイをしやすい高さと位置にシャトルを上げることと。 ・攻撃につなげるための次のプレイをしやすいいでり、打ち返したりかすること。 ・ネット付近でシャトルの侵入こと。 ・施やラケット位置から相手側のコートに打ち 込むこと。 ・ボジションの役割に応じて、持ったりつないだり打ち返したり すること。 ・ラリーの中で、味方の動きに合 をカバーする。	【知識及び技能】 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい,技術の方法能競う楽しさや高があた。 「無動観察の方法能動を理解するとともに,作戦に応ことがでいる。  【思考力、判断力、表現力等】 ではいるを発展した。 「とがでからのでは、では、ないのでは、ないな解け、では、ないな解し、では、ないな解し、ないな解し、ないな解し、ないないでは、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	0	0	0	
C 男女 体育理論 (2単位) 【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの文化のいいで理解すると、スポーツの発展について理解すると、スポーツの発展に変国がよいでは、現然の歴史とという。 スポーツの発展に変しているのでは、現があること、 表現の文化の特性の表別を表し、表しているが、表現力現代を表しているが、表現力の文化のが、表現力のでありました。 【思ボーツの発展に、出来でのよいでは、といいのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	・スポーツの歴史的発展と多様な変化や現代のスや中理へを整理したり、自己たりはで、まないので、まないので、まないので、まないで、まないで、まないで、まないで、まないで、まないで、まないで、まない	【知識】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について理解すること。 スポーツは、人類の歴史とともに始まり、そいの理念が時代に応じて多様に変容してきて発展しているスポーツがあること。 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝えること。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組むこと。	0	0	0	6 合計

# 高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 保健体育 科目 保健

 教 科: 保健
 科 目: 保健
 単位数: 1
 単位数: 1
 単位

対象学年組:第 1 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: (17組:吉田) (2~6組:飯塚)

使用教科書: (現代高等保健体育)

教科 保健体育 の目標:

【知 識 及 び 技 能 】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するととも に、他者に伝える力を養う。

生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力 【学びに向かう力、人間性等】ある生活を営む態度を養う。

科目 保健

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人生活及び社会生活における健康・安全について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けたことを言ったり書いたりできるようにする。	にする。	個人生活や社会生活における健康・安全に関心をもち、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習に取り組めるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	生活を通じる健康 【知識及び技能】 、思考解しまける心身の発達や性的成熟に伴う身体高、心理 高、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあ ることについて、男解する。 ・思寿期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や ・思寿期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や 健性で理解してり種重したりする起度が必要であること。及 で性に関する情報等への適切な対処が必要であることについ ・ 理解する。 ・ 結婚生活について、心身の発達や健康の保持増進の観点か ら理解する。 ・ 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解す ・ 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解す		[知識及び投密] ・服券期における心身の発達や性的成熟に伴う身体面、心理面、行動面などの変化に関わり、健康課題が生じることがあることについて、理解したことを含ったり書いたりしている。 ・服券期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり審重したりする態度が必要であること、及び性に関する情報等への適切な対が必要であることについて、理解したことを含ったり書いたりしている。 ・結婚生活について、必身の発達や健康の保持増進の観点から理解したことを含ったり書いたりしている。 ・受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について、理解したことを含ったり書いたりしている。 ・実験計画の養命へ入工妊娠中絶の心身への影響などについて、理解したことを含ったりまいたりしている。 ・実験計画の養命へしている。 ・講修生活を健康に選づている。 ・請除生活を健康に選づている。 ・請除生活を健康に選づている。	0	0	0	1
		思春期と健康 ・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明で さる。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例を あげることができる。	・希望とは恋な様になって、これは、自然の場域に対しる負生か、反対なな向側的 様なな危機・医療サースの店用が必要であることについて、理解したことを 様なな危機・医療サースの店用が必要であることについて、理解したことを 中高年期を使やいく選(すといくは、禁いときか。機能影響の影響的などの自己管理を行こと、生きがいるもつこと、運動やスポーツに取り組 きなどの自己管理を行こと、生きがいるもつこと、運動やスポーツに取り組 さこと、実験で大力などとの異状な関係を係のこと、地域における交換をもつ ことが関係することについて、理解したことを言ったり書いたりしてい 。 高齢期には、加修に伴い、心身の機能や形態が変化すること、その変化には 個人差があること、疾病や準数のソタッが高まること、機能の認りが実例化す	0	0	0	1
		信意識と性行動の選択 ・性言識の予念について何をあげて説明できる。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす何をあげることが できる。	る傾向にあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 高齢社会では、認知底を含む疾病等への対処、事故の防止、生活の質の保 持、介護などの必要性が高まることなどから、保健・医療・福祉の連携と総合 的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしてい る。 ・労働による傷害・職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴 い質や量が変化してきたことについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ・労働以答を防止するには、作業形態や保護環境の必要、決時同労働きにより よする温度労働防止を含む機能管理と安全管理が必要であることについて、	0	0	0	1
1		経験・出産と健康・経験・ ・出産の番配における健康課題について説明できる。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの何をあげることができる。	現解したことを言ったり書いたりしている。・働く人の健康の保持増進は、職の健康管理が交替理ともは、必有両面にわた秘含的、積極的な対策の 排進が限られることで成り立つことについて、現様したことを言ったり書いた ・働く人の日常生活においては、積極的に条限を活用するなどして生活の質の 向上を核ることなどで健康の保持増進と図っていくことが重要であることにつ いて、企理解したことを言ったり書いたりしている。 「思考力、判断力、表現力号」 ・生涯の今段階における健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理し たり、個人及び社会主法と関係された。自他や社会の異題を発見してい	0	0	0	1
学期		避妊法と人工妊娠中絶 ・実践計画の差と適切な避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。	2. 担条押と健康について、習得した知識を基に、心身の発達や性的成熟に伴う 健康課題を解決するために、性に関わる情報を適切に整理している。 病語母主語と健康について、習得した知識を基に、結婚生活に伴う健康選回 解決や生活の質の向上に向けて、機能・医療サービスの活用力法を整理してい る。 か加齢と健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾病や事故のリスク 軽減のための個人の取組と社会的対策を評価している。 生態の各及程における健康について、自他や社会の課題の解決方法と、それ を選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、新道を立 でて説明している。・労働と健康について、健康に関わる原料や概念を基に整	0	0	0	1
	様サービスの活用方法を整理できる。 ・加齢・健康について、習得した知識を基に、中高年期の疾 病や事故のリスを施練のための個人の設定と社会的対策を影 値できる。 ・生態のを段端における健康について、自他や社会の課題の 解決方法と、それを選択した理由などを組でみたり、ノー が終入力と、またを選択した理由などを制できる。 ・労働と健康について、健康に関わる民間や概念を基に整理 したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・働く入の機能の採料を振いついて、習得した知識を基に、	部第生店と健康 心心の必要と結婚生活の関係について説明できる。 ・結婚生活を健康的に迷るために必要な考え方や行動をあ げることができる。	、し成功している。予助・世際に、パパ、東京に関わる明や状态を集に基 型したり、関小及び社会生活と関連付けたりして、自信や社会の服務を発見し、 ・ 備く人の健康の保持権連について、習得した知識を基に、生活の質の向上を 図ることと間違いけて、開郷的の方法に応用している。 ・ 労働災害と健康について、著得した知識を基に、労働災害の防止に向けて、 組入の認能と社会的対策を整理している。 ・ 労働と健康について、自他や社会の展題の解決方法と、それを選択した理由 などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明している。	0	0	0	1
	性活の質の向上を図ることと関連付けて、課題解決の方法に が用できる。 ・労働災害と健康について、習得した知識を基に、労働災害 の防止に向けて、機の取取組と社会的対策を整理できる。 ・労働と健康について、自他や社会の護卿の解決方法と、そ れを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し たりして、締道を立て花別可さる。 【学びに向かう力、人間性等】 生産節の各限院における健康について、課題の解決に向けた学	中高年期」健康・加齢にともなう心身の変化について例を あげて説明できる。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて 説明できる。	【学びに向かう方、人間性等】 生産節の各層化はおる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。労働と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	0	0	0	1
	習に主体的に取り組もうとしている。労働と健康について、 課題の解決に向けた学習に主体的に取り組むことができる。	働くことと健康 ・働くことの意義と健康とのかかわりについて説明でき ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。		0	0	0	1
		定期考查		0	0		1

「働災害と健康 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明でき 。 労働災害を防止するために必要なことをあげることがで 0 0 0 1 健康的な職業生活
・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。
・余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 0  $\circ$  $\circ$ 1 健康を支える環境づくり 【知識及び技能】 ・人間の生活や産業活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染 などの自然環境汚象を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり 被害をもたらしたりすることがあるということについて、理 解する。 【知識及び技能】 ・人間の生活や電素活動は、大気汚染、水質汚濁、土壌汚染などの自然環境汚 歩を引き起こし、健康に影響を及ぼしたり被害をもたらしたりすることがある ということについて、理解したことを言ったり事いたりしている。 ・健康への影響を被害が止げるためには、汚染物質の単出をできるだけ抑制 したり、排出を1ただ洗染物度を適切に処理したサギることなどが必要であるこ (気汚染と健康 大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明 さきる。 大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて 説明できる。  $\bigcirc$  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 1 被害をもたらしたのすることがあるということについて、理事する。
・健康への影響や影音を防止するためには、汚染物質の排出をできるだけ抑制したり、排出された汚物物質を適同に処理したのすることについて、刑解する。
・健康への影響や被害を防止するために意味を無などの法律等が削減されており、環境基準の設定、排出物の規制、設体制の整体で総合の計画的対策が集ましたいることについて、理解する。
上下水道の整体で総合の計画的対策が集ましたいることについて、理解する。
上下水道の整備。ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や学校・地域などの社会ままにおける環境、近外人の健康を守るために行われていることについて、理解する。
人名の世族を父えるためには、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性が損なわれると、機能に深らな破害をもたらずことがあり、食品の安全性を確保することが重要であり、食品の安全性を確保にることは健康の保持増進にとって重要であることについて、理解する。 したり、排出された汚染物質を適切に恐地したりすることなどか必要である。 とについて、理解したことを含ったり書いたりしている。 ・健康への影響や被害を防止するために環境基本法などの法律等が制定される おり、環境基準の設定、排出物の規制、監視体制の整備などの総合的・計画の 対策が譲じられていることについて、理解したことを言ったり書いたりしてい 水質汚濁, 土壌汚染と健康 ・水質汚濁, 土壌汚染の原因とその健康影響を説明でき る。 ・上下水道の整備, ごみやし尿などの廃棄物を適切に処理する等の環境衛生活動は、自然環境や字校・地域などの社会生活における環境、及び人々の健康を守るために行われていることについて、理解したことを言ったり書いたりして 。 大気,水,土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のし みについて説明できる。  $\bigcirc$  $\bigcirc$ 1 環境と健康にかかわる対策 ・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明でき 2 学期 )。 産業廃棄物の処理について説明できる 0 0 0 1 5. それぞれの使物を果たすことが重要であることについて、理解したことを きなが国には、人々の健康を実えるための保健・医療制度が存在し、行效及び たの他の機関などから健康に関する情報。医療の供格、医療費の保障も含めて り書いたりしている。 ・健康を保持増進するためには、検診などを通して自己の健康上の展型を約 に把握し、地球の機能で、保険サービンなどが提供されていることについて、理解したことを言っ に把握し、地球の機能で、保険サービンなどを通して自己の健康上の機型を約 底壁機制、及び保険・医療サービンなどを通りに信用していくことなどが必要 、医療機能、及び保険・医療サービンなどを通りに信用していくことなどが必要 、保護品は、医療制度薬品、単位事業を表していて、足球がは、 家認制度によってその有効性や安全性が基金されており、販売に規制が設けられていることについて、理解したとを言ったのまかたりしている。 ・疾病からの回接で懸化の防止には、極々の医薬品の特性と理解したとで、使し たことと言ったり事いたりしている。 、我が国で性を含むするといいで、とないまたりにないることについる。 、我が国で性を含むするといるといる。 、我が国で性などのは、とないまたのは、他様は悪態に対応して各種の保健活動や社たら的対策が行われていることについて、理解したことを含ったのまることについる。 りまいたりしている。 りまいたりにいる。 ごみの処理と上下水道の整備 ・ごみの処理の現状やその課題について説明できる。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できる。  $\bigcirc$ 0 0 1 ta品の安全性 ・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できる。 ・食品の安全性に関する今日的課題について説明できる。 0 0 0 1 へいる。 かい14/40 いいのことについて、理解したことを言ったり書いている。 でいる。 他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの考え方に基づい 健康に関する環境づくりが重要であることについて、理解したことを言っ 書いたりしている。 団解する。 ・疾病からの回復や悪化の防止には、個々の医薬品の特性を 理解した上で、使用法に関する注意を守り、正しく使うこと 食品審生にかかわる活動 ・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割につ いて説明できる。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明 B解した上で、使用Æに関する住意を守り、エレヽロノー。 必要であることについて、理解する。 我が国や世界では、健康を支えるために、健康課題に対応 て各種の保健活動や社会的対策が行われていることについ ん、映画に関する研究・ハッか重要とののことについ、、性所したことを言うたり書いたりしている。 ・一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づくりに積極的に参 加していくことが必要であり、そのことが自分を含めた世界の人々の健康の保 特増進につながることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 理解する。 他の健康を保持増進するには、ヘルスプロモーションの 方に基づいた. 健康に関する環境づくりが重要であるこ 0 0 0 1 【思方力、判断力、表現力等】
・環接と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び 社会法法と開始付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
・人間の生活や電害活動などによって引き起こされる自然環境汚染について、 等別を選して、実施等のリスクを軽減するために、環境汚染の防止や改善 善の方原に応用している。 電機と健康について、自他や社会の課題の解決力法と、それを選択した理由 などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、修道を立てて説明してい スがに基づいた。健康に関する原項づくりか重要であるこ について、理解する。 一人一人が健康に関心をもち、健康を支える適切な環境づ りに積極的に参加していくことが必要であり、そのことが 分を含めた世界の人々の健康の保持増進につながることに いて、理解する。 期考查 【思考力、判断力、表現力等】 ・環境と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理 」たり、個人及び社会生活と関連化けたりして、自動の社会 0 0 1

							合計
		定期考查		0	0		1
				0	0	0	1
791	【学びに同かっ方、人同性等】 ・環境と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組める。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組める。 ・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題 の解決に向けた学習に主体的に取り組める。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向け た学習に主体的に取り組める。 ・健康に関する競歩づくりと社会参加について、課題の解決 に向けた学習に主体的に取り組める。	健康に関する環境づくりと社会参加 ・健康の保持増進のための環境づくりについて説明でき ・ 環境づくりへの主格的な参加が自他の健康づくりにつな がることを説明できる。					
学	けたりして、自他や社会の課題を発見できる。 ・ヘルスプロモンコンの考えがに基づいた、適切に情報を適 環境づくりへ積極的に参加していくために、適切に情報を適 は、収集して、分析・評価に計画を立てられる。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会 の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合った り、ノートなどに記述したりして、筋道を立てて説明でき る。 【学びに向かう力、人間性等】	さまざまぐ保健活動や社会的対策 ・国際機関・民間機関などの保健活動について何をあげて 設別できる。 ・行政機関による社会的対策について何をあげて説明できる。	いる。 ・食品と健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとして ・な品・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、課題の解決に向けた学 習に主体的に取り組もうとしている。 ・様々な保健活動や社会的対策について、課題の解決に向けた学習に主体的に 取り組もうとしている。 ・健康に関する概念としている。 ・健康に関する概念としている。	0	0	0	1
	や概念を基に整理したり、個人及び社会性活を関連付けたり した、自他や社会の課題を発見できる。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施設の活用の化力につい 決決に応用できる。 ・様々保保経活動や社会的対策について、自他や社会の課題 の解決方法と、それを選択した理由などを語し合ったり、 ・一トなどに記述したりして、務定を立てて説明できる。 ・健康に関する環接グイクと社会参加について、健康に関する な原則や概念を基に簡単したの、個人及び社会生活と問連付	医療品の制度とその部別 ・医薬品の工い使用法について説明できる。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明 できる。	見している。 ・ヘルスプロモーションの考え方に基づいた、健康に関する環境づくりへ積極 のに参加していくために、適切な情報を選択・収集して、分析・評価・計画を 立てている。 ・健康に関する環境づくりと社会参加について、自他や社会の課題の解決方法 と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述したりして、 筋道を立てて説明している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・環境を健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとして	0	0	0	1
	れを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し たりして、新道を立てて説明でき、原機関について、健康 に関わる肌甲を変を多生、原理したり、個人及び社会生活と 関連付けたりして、自他や社会の課題で各見できる。 を展素の制度とつが活用したり、個人及び社会生活と のまたに見動が取けられていることと間をさる。 ないました。 ないました。 ないました。 では、 ないました。 では、 ないました。 では、 ないました。 ないまたる。 ないま	医療サービスとその活用・・ かが国における医療保険のしくみについて説明できる。 ・ さまざまな医療機関の役割について説明できる。	・保健・医療制度及び地域の保健・医療機関について、自食や社会の問題の特 成方法と、それを限くた理由などを話し合ったり、ノートなどに記せ、たり して、新道を立てて説明している。 株々な保健活動や社会的対策について、健康に関わる原則や概念を基に整理 したり、個人及び社会生活と問題が付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 ・地域の保健・医療機関やスポーツ施むの活用の仕がについて、関連した情報 を整理した場話の質の向上に向けた観光解した明している。の様決方はと、そ おると選択した理由されを認め、一トなどに記述したりして、新道を 立てて説明していまして、おいまして、 ・機能に関する環境が入り、土トなどに記述したりして、新道を 立てて説明して、別人及び社会を指と同様がより、で、自を社会の課題を発 に整理した。別人及び社会を指と同様が目的に、自を社会の課題を発	0	0	0	1
	・人間の少話が突破筋筋がなどによって耐き起こされる自然機 域内後について、専門を通して整理し、疾病等のリスタを軽 減するために、機関汚染の防止や改善の方類に応用される。 環境と健康について、自他や社会の環境の解決方法と、そ れを選択した理由などを話し合ったり、ノートなどに記述し りして、筋道を立てて設明さる。原明や概念を基に整理 たりして、新道を立てて設明される。 ・食品と機能について、健康に関わる原明や概念を基に整理 たり、大きないが、生態に関わる原明や概念を表に整理 なりないないが、といいないが、といいないないが、といいないないが、 会場の完全性とを影響とに関わる活動について、習得した 保持機能するための計画が立てられる。 失品と健康について、自他や社会の環境の解決方法と、そ 会品と使用でいて、自他で社会の環境の解決方法と、そ	<ul> <li>・保健行政の役割について何をかげて説明できる。</li> <li>・保健サービスの活用の何をあげることができる。</li> </ul>	拾金生店と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。     食品の空色性と島名第上に関わる原動について、習得した知識を自他の日常生活に適用して、健康被害の防止と健康を保持増生するため計画を立ていい、自然をはいて、自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを結し合ったり、ノートなどに記述したりして、筋道を立てで説明している。     作機・医療制度及び地域の保健・医療機関について、健康に関わる原則や概念を基本態理したり、個人及び社会主格と関連付けたりして、自他や社会の顕彰を影が明えた。     との表記を選生したり、個人及び社会主格と関連付けたりして、自他や社会の顕彰を集めの場合との活用について、展業品には影響を表められていることと関連付けながら、生活の質の向上のために利用の仕方を参照している。	0	0	0	1
$\neg \neg$	の課題を発見できる。	保健サービスとその活用	<ul><li>・食品と健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び</li></ul>				

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ

単位数: 2 単位 教 科: 芸術 科 目: 音楽Ⅱ

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: 諫見のり子 児玉葉子

使用教科書: ( MOUSA 2 ( 教芸 音 I 702)

芸術 音楽 の目標:

創意工夫等を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、などで表現するこ 【 知 識 及 び 技 能 】とができる。

曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性等について理解する。

音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受し 【思考力、判断力、表現力等】 たこととの関りについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや 美しさを味わって聴くことができる。

【学びに向かう力、人間性等】音や音楽、音楽文化と豊かに関わり主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組むことができる。

科目 音楽Ⅱ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作、など	楽を評価しながらよさや美しさを深く味わって 聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の諸活動に取り組み、音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

			表現	<b>#</b>		<u> </u>				
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容		創	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1 学期	A 鑑賞「サウンドオブミュージック」 ① 主なが、	の時代背景と ・鑑賞「サウンドオブミュージッ ク」			0	【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と変化的・歴史的背景との関わり、な理解している。 【思考・判断・表現】 ①音場面が登がについての名がら、ミュージカルの魅力を水がら、ミュージカルの魅力を水にあっている。 ②音を感受さいる。 ③曲や音がよいる。 ③曲や音楽の良さを感受といる。 ③曲や音楽の良さを感受と評価とその自場味わって聴わらの働きを感受と評価とその自いについて聴わられたの場奏に対する等がある。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①曲粉楽の特徴とり・歴動のに鑑賞の学習に動り組むうとしている。  【主体的に学習に取り組む態度】 ①曲粉楽の特徴をもち、主体的、協働的に鑑賞の学習活動に取り組むうとしている。	0	0	0	6
	B ピアノ 【知識及び技能】 ①ピアノの奏法について理解する。 ②創意工夫を生かした器楽表現した器楽さわした器楽さわした器楽さかした器楽さかした。 法等の技能を受な、曲にふさ楽できる。 【思考力、判断力、表現 強弱等を知覚し、との働き現することができる。 【思き色、リズム、旋律、吸受しながら、ど意図をもち、表現することができる。 ど恋はからに表現するかについできる。 「学アノやピアノ育に関心をもち、大郎では向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ育に関心をもち、取り組む。	<ul><li>「メヌエット」練習</li></ul>	0	))	0	【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができている。 【思考力、判断力、表現、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとしている。	0	0	0	20
	A 鑑賞「ウエストサイドストー リー」 歌唱「Tonight」 【知識及び技能】 ①ミュージカルについての知識を学 パ その歴中や始後を理解する	・ミュージカルの歴史 ・ミュージカルの特徴 ・ミュージカルの代表作 ・「ウエスト サイド ストー リー」の時代背景と社会問題 ・愛賞「ウェストサイドストー				【知識・技能】 ①ミュージカルについての知識を学び、その歴史や特徴を理解している。 ②音楽の特徴と文化的・歴史的背景との関わり、及び様々な歌唱表現や器楽表現の特徴について理解している				

	②音楽の特徴と文化を歴史表別の音楽の特徴と文化を整唱表した。音楽の特徴と文化をで表現の音楽をで表現の情報をできません。 ③創作を主要な方を変化である。 ③創作をを要な方をで表現ので表現ので表現ので表現ので表現ので表現ので表現ので表現ので表現ので表現の	・歌唱「Tonight」 ・英語の読み ・英語の意味 ・発声練習 ・歌唱練習	0		0	③創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ①音楽と映像の結びつきや、音楽によって映画の場面や登場人物の心情がどのように表現されているかについている。2010の働きを聴きた対する評価とその根拠について聴いる。3曲や演奏に対する評価とその根拠について表えたがらら、ま現したとを考えている。3曲や演奏に対する評価ときの時味わって聴いている。(3世のように演奏するのかについて、表現意図をもち、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①「ウエスト 財・メトーリー」に描かれているとは、と問題や登場人物の心情に関心をもいる。 【主体的に学習に取り組む態度】
	B ビアノ	<ul><li>右手練習、左手練習、両手練習</li></ul>		0	0	【知識・技能】 ①ピアノの奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために 必要な、曲にふさわしい奏法等の技能を身に 付け、器楽で表現することができている。 【思考力、判断力、表現力等】 ①音色、リズム、旋律、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながら、どのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ピアノやピアノ音楽に関心をもち、主体的協働的に器楽の学習活動に取り組もうとして
	A ミュージックベル 【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法に ②創意とできまえたができる。 ②創意工夫を生かした器楽さりでき来表現した表現りに表したとの技能できる。 【思考力、判断力、旋撃の受したとが、判ちることができる。 【思考力、リズムの働きを感受したように対し、知覚し、知覚し、知覚したこと考え表し、知覚し、知りについてき、大意図をもと、現意の関するならでき、大きにの関するならからから、大学なーとがある。 【学びュージックベルやも、東現すなこかがカーベル音楽に関いない。 ②アンもも、知知にになり、細胞になり、細胞になり、細胞になり、細胞になり、細胞には、のでは、ないのでは、大やないのでは、大やないのでは、大やないのでは、大やないのでは、大いないのでは、大いないのでは、大いないないない。	<ul><li>・グループ決め、担当決め</li><li>・ミュージックベル用楽譜作り</li><li>・グループ練習</li></ul>		0	0	【知識及び技能】 ①ミュージックベルの構造や奏法について理解している。 ②創意工夫を生かした器楽表現をするために 必要な、曲にふさわしいを奏法等の技能を身に付け、器楽で表現することができている。 【思考力、判断力、表現、強弱等を知覚し、それらの働きを感受しながらいれて考えととよれらの働きを感受しながらいれて考えどのように表現するかについて表現意図をもち、表現することができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ①ミュージックベルやミュージックベル音楽に関心をもち、主体的協働的に取り組もうとしている。 ②アンサンブルの演奏をすることに関心をもち、主体的・協働的に器楽の活動に取り組もうとしている。
3 学期	■ 合唱「ぼくはぼく」 【知識及び技能】 ①曲想や歌詞の内容で様となる現上の効果形態による歌唱で表現の情態による歌唱表現の特徴に間表現を音響を変をでした歌言葉を音響を変をがした歌言葉を音響を変をしたいます。 「思色れたで表す。」では、当時では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	・パート練習	0			【知識・技能】 ①曲想や歌詞の内容や表現上の効果の関りについて、及び様々な表現形態による歌唱表現の特徴についてを選択形態による歌唱表現をするために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方等の技能を身に付け、表現】 ②割意工夫を生かした歌唱で表すことができる。 【思考・判解・表現ことができる。 【思考・判解・表現こととと感受したこととの働きを感受しないて考えごとと、知らの働きを感受しないて考えでである。 【主体のに学習に取り組む態度】 ②どのように歌うかについて表現を創意工でいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 し正しい発声方法を身に付けて表現を創意工夫することに関心をもち、主体的に知る。 ②歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 ②歌唱の内容と作詞者・作曲者の思いに関心をもっている。

高等学校 令和5年度(	1 学年用) 教科	科目
教 科: 0 科 目: 0	単位数:	単位
対象学年組:第 1 学年 組~ 組		
教科担当者: (組: ) (組:	) (組: ) (組: )	(組:)(組:)
使用教科書:(		)
教科 0 の目標:		
【知 識 及 び 技 能】		
【思考力、判断力、表現力等】		
【学びに向かう力、人間性等】		
科目 0 の目標:		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標 A 単元 【知識及び技能】	指導項目·內容	評価規準	知	思	態	配当
		<ul><li>-</li></ul>					時数
	【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・教材 ・一人 1 台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	5
	B 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8
1	定期考査			0	0		1
学期	C 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	<ul><li>・指導事項</li><li>・教材</li><li>・一人 1 台端末の活用 等</li></ul>	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	8
	D 単元 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】 【学びに向かう力、人間性等】	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 【思考・判断・表現】 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	7
	定期考査			0	0		1
2 学期							
3 学期							合計 30

高等学校 令和5年度(2学年用) 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科: 芸術 科 目: 美術 I 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組

教科担当者: (1・2組:武藤) (3組:武藤) (4・5組:武藤) (6・7組:関崎) (組: ) (組: )

使用教科書: ( 高校生の美術 1 日本文教出版 )

教科 芸術 の目標:

【知 識 及 び 技 能】美術の基礎的な知識・技術を学び、作品の制作に生かすとともに、芸術文化への理解を深める。

【思考力、判断力、表現力等】課題についての考えを深めてテーマや素材を選び、美的且つ効果的に表現できる。

【学びに向かう力、人間性等】芸術を通して他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとともに、粘り強く課題に取り組むことができる。

科目 美術Ⅱ

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
して、細密デッサンの技法を学ぶ。糸鋸を自在 かつ安全に使用する。美術作品の調査方法とレ	表現することができる。美術史上の作品を調査	他者と自己の違いや互いの長所を認め合うとと
ポートの書き方、プレゼンテーション能力の向上を目指す。	し、作品を通じて考えたことや感じたことをレ  ポートと発表で表現できるようにする。	

-	<u>を目指す。</u>	ポートと発表で表現でき		<u> </u>	<u> </u>	9 0	0				
				表現	Į						配
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	絵 ・ 彫	デ	映	鑑賞	評価規準	知	思	態	当時数
1 学	A 単元 顔を描く~スーパーリアリズムに挑戦~ 【知識及び技能】著作権と肖像権について十分に理解した上で、題材(写真)を選ぶッサンを応用し、リアルな描写ができる。 1年次に学写ができる。 【思考方写、 判断力、表現力等】 調密描活いした題材(写真)を用意できる。 【学びに向かう力、人間性等】授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	<ul><li>・肖像権と著作権について</li><li>・転写技法</li><li>・目、鼻、口などの形の特徴と描き方 ・ハッチング</li><li>・トーン表現</li></ul>	0				・素材 (写真) が課題の目的に合致しているか。 ・1 年時に学んだデッサンの技術と見方を応用できているか。 ・形体表現 ・細密描写 ・授業に主体的に参加し、集中して制作しているか。	0	0	0	26
期											
2 学	【知識及び技能】 糸鯨の特徴と使用方法を理解し、安 全かつ自在に使用できる。 【思考力、判断力、表現力等】 パズルの用途を踏まえ、魅力的かつ オリジナリティーのあるデザインを 考えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課 題に取り組む。	・やすりがけ ・彩色		0			・デザイン (オリジナリティーと表現力) ・糸螺技術 ・フィニッシュ ・授業に主体的に参加し、集中して制作して いるか。	0	0	0	28
字期											

3 学	A 単元 西洋美術史 【知識及び技能】 作品についての調査方法を知りなる。 作品についての調査方法を知りなる。 作品についでであまることができる。 作品についで学んだことをが、の。 作品についで学んだことをが、できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の調査を通じて得た自力分のトト を美的かかつ分かりやする。 【学びに向かう力入人間性等】 授業に主体的に参加し、粘り強く課題に取り組む。	<ul><li>生徒により発表された作品についてのまとめと補足</li></ul>			・発表において、他の生徒に対して、大きな声で分かりやすく伝えることが出来たか。 ・発表において、作品を知るうえで、他の生徒に伝えるべきことを的確に伝えられたか。 ・レポートでは、作品の調査を通じて得た自分の考えを根拠を上げて述べているか。	0	0	0	16
									合 計 70

| **横崎** | **高等字校 节和** | 対象字年組:第 | 2 学年 | (1組: 小西極節) | (明教科書: 素術 | 芸術 | 2 学年 | (1組: 小西極節) | ( 光村図書 書 I | ま | ま | ま | ( 光村図書 書 I | ま | ) | | 音思| 単位数: 単位 | 6 組 | (2組:小西優輝) (3組:小西優輝) (4組:小西優輝) (5組:小西優輝)(6組:小西優輝)

の目標: 書の伝統と文化、漢字の変遷、各書体に特有の表現方法について 理解する。 古典、古筆・刻印等の鑑賞を通して、書のよさや美しさを味わって捉える。 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力等】

伝達手段としての漢字の成立を理解し、漢字仮名交じり書の成立、その背景にある歴史に関心を持ち、主体的に書道 の幅広い劇作の学習活動に取り組む。 【学びに向かう力、人間性等】

171 🗆	吉坦 1	の日保:		
		【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul> <li>知識</li> </ul>			[表現] 書風に即した用筆・運筆、字形、全体の	[表現] 主体的に書道の幅広い表現の学習活動に取り組
[表現]	書体や書風と用筆	<ul><li>運筆との歴史的な関わりについて理解す</li></ul>	構成について構想し工夫する。	む。
る。			[鑑賞] 古典・古筆・刻印等の価値とその根拠に	[鑑賞] 主体的に書道の幅広い鑑賞の学習活動に取り組
[鑑賞]	線質、字形、構成	法の要素と表現効果や風趣との関わり、日本	ついて考え、書のよさや美しさを味わって捉え	む。
及び中国	等の文字と書の伝	統と文化について理解する。	る。	
<ul> <li>技能</li> </ul>				
	筆・刻印等に基づ	く応用的な用筆・運筆の技能、線質、字形や		
構成を生	Eかした表現を身に	つける。		

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現	漢	仮	賞鑑	評価規準	知	思	態	数時当配
1 学期	□ 東京の書 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「知識及び技能」 「表現」古典の書体や書風と用筆・運筆との 関わりについて理解させる。 「鑑賞」発質。 子形、構成社の要素と表現効果や風趣との関わり、中国の文字変遷と書の 伝統と文化について理解させ。 「技能」 「表現」古典の書体や書風に即した用筆・運 生む。 「思考力、判断力、表現力等 「表現」古典の書体や書風に即した用筆・運 生む。 「思考力、判断力、表現力等 「表現」古典の書体や書風に即した用筆・運 生む。 「認賞」古典の価値とその根拠について考 え、書のようを楽しさを味わって捉えさせ 「全切に向かう力」人間性等 「表現」古典の指といて表え、書のようで楽しさを味わって捉えさせ に、書のは、また、書のようで楽しるを味わって捉えさせ 「表現」古典の指数に次字の書の幅広い表現の学 目活動に取り組ませる。	指導事項 「接審」 甲骨女字 参北刻石 天具昌碩 小海朝蒙書作品 上記古典を学び、様々な 書体、書風、表現を学ば ・教材 巻 書 I		0		0	知識と 書等を記していた。	0	0	0	16
2	○単元 漢字の書 「知識及び技能] ・知識 「表現」古典の書体や書風と用筆・運筆との 開きりについて理解している。 「整賞」線質、子形、構成法の要素と表現効 半や風趣をの限わり、日本及 (2)中国等の文字 と書の伝統と文化について短解している。 技能 ・ 大統 ・ 大変 ・ 大変	・指導事項 「接着」 「接着」 「接着」 「持備」 「有価」 「有価」 「表面」 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。 「一。		0		0	一大型	0	0	0	20
学期	○単元 篆刻 【知識及び技能】 ・知識 【表現】到法、用筆・運刀との関わりについ で電解させる。 ・工館解といりであり、豪書等待の文字構造に ・ない。 ・な、 ・ない。 ・ない。 ・ない。 ・ない。 ・ない。 ・ない。 ・ない。	・指導事項 業別作品 生名印 ・教材 ・教材 光籽図書 書Ⅱ			0	0	Tuna	0	0	0	6

3	(日単元 仮名の書 上知識及び技能] ・知識とび技能] ・知識とび技能] ・知識とでは、 について選解させる。 「鑑賞」解質・字形、構成法の要素と表現効 足や風機をの関わり、日本の文字と書の伝統 と文化について理解させる。 ・技能 仮名の古筆に基づく基本的な用筆・選筆の技能、 総定、練質、字形や構成を生かした表現を身に つけさせる。 【思考】、判断力、表現丸等] 【思考】、判断力、表現丸等] 【思考】、判断力、表現の第一個、に を選覧、係名の古筆の価値とで構想し扱いで さ鑑賞、仮名の古筆の価値とついて構想した。 で鑑賞、仮名の古筆の価値とついて構想しまり、 で、一、「本名、書のよさや美しさを味わってで、 と変け、仮名の書の価値とい表現の学 習活動に取り組ませる。 「器質】主体的に仮名の書の幅広い表現の学 習活動に取り組ませる。 「器質】主体的に仮名の書の幅広い表現の学 習活動に取り組ませる。 習活動に取り組ませる。	・指導事項 仮名の成立と種類につい での設則、時代背景等、 特徴的な立と種類につい での設則、時代背景等、 特徴的な筆とを理解な空 世七ろ、仮名の基本の総 をい 所選動、結びな と り、円 円環 環 準、 他 一 で の を の を の を の を の を の を の を の を の を の		0	0	知識及び、	0	0	0	14
学期	○単元 漢字仮名交ビりの書 1 知識及び迷避2 1 知識及び迷避2 1 知識及び迷避2 1 知識及び迷避2 1 新見・用材の特徴と表現効果との関 2 表現・現代の書の表現と用筆・選輩と 1 鑑賞3 解質 マ 字形、構成法の要素と表書を 成立について理解させる。	・指導事項 薬字仮定りの「指導」。 薬字仮定しの「無容」。 薬字を保養している。 では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	0		0	国	0	0	0	6 合計

**尚等字校 令和5年度 教科 外国語 (英語) 科目 英語コミュニケーション**取 教 科: 外国語 (英語) 科 目: 英語コミュニケーション 単位数: 4 単位 対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: (1.4.6組・法・セピン (2.2.1) 教科担当者: (1, 4, 6組:清水敏) (2, 3, 5, 7組:疋田) (L3, 5組:清水敏) (L2, 3, 5, 6, 7組: 狩侯) (L1, 4, 7組:野村) (L1, 2, 4, 6組:疋田)

使用教科書: ( Power On English Communication II

教科 外国語(英語) の目標:

【知 識 及 び 技 能 】外国語の技能(四技能)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、 話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細 を目的に応じて捉えたりすることができる。	理性に注意して複数の文で話して伝えることができる。	日常的・社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、 話の展開や話し手の意図を把握したり、概要や要点、詳細 を目的に応じて捉え、情報や考え、気持ちなどを論理性に 注意して複数の文で話して伝えようとしている。

現場の日刊記する。						領垣	ŧ						-
「記載・株型  記録性・機型の変形を		単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	聞	読	や	_	舳	評価規準	知	思	態	当時
「振興・古殿1 5×1+0-10-10 (国際大阪前)」 5×1 動代のファッション業界についての		「知識・技能」助動詞+動詞の原形、受け身、8+V [be 動詞以外] +でを すり。 8+V [be 動詞以外] +でを すり。 8+V [be 動詞以外] +でを すり。 8・関係を まない。 10 を まない。 10 を まない。 10 を まない。 10 を まない。 10 を まななとのかかわりどのようをななとを た、設置されたかについ分の考えなを でや文を用いて、情報や自分の考核 にと考・サードンと人々、といるを がしたりして 日と考・サードンと人々、トゥレードン は、判断・表現、日本やとのがアンい は、判断・表現、日本やとのがアンい は、判断・表現、日本やとのがアンい は、判断・表現、日本やとのかかが が は、判断・表現、日本やとのかかが は、 にと考・レートがにのかり にと考・レートがにのより にでしたり、とのないかりが、 情報で自分の考。 「主体と人々、というな に、メトリートかについう を に、まない。 10 になったが に、まない。 10 になったが に、まない。 10 にない。 10 に などを に、といい。 10 に は、これにいい。 10 に は、などと に、これにいい。 10 に は、これにいい。 10 に は、これにいいい。 10 に は、これにいいいい。 10 に は、これにいいいいいいいい。 10 に は、いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい。 10 に は、いいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいいい	「圏材内容」ストリートピアノについて のテレビレボート [言語材料] 助動詞+動詞の原形、受け 身、S+V [be 動詞以外] +C [言語の倫金] 説明する、報告する、紹 介する、発表する ・教材 Power On English Communication II スタディノート II WORKBOOK II Deep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	+V [be 動詞以外] →Cを用いた文の形・意味・ 用法を理解している。 日本や海外でのストリートピアノと人々ト社ピア とのかかわりにかいて、まま、ストリートとアインがどのような経緯で変されたたかについて、多様な語句や文を用いて、情報や自分を表したりまなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現] 日本や海外でのストリー、 また、ストリートピアノがどのような経緯で設 優されたかについて、は様報や自分の名様などを また、ストリートピアノがどのような経緯などを 話したり書いたりして伝えている。 [上本仲的] 日本や海外でのストリー、まさ、ストリートピアイがどのような経緯で設 話したり書いたりして伝えている。 し、本社会とのかかわりに対なで設置話したりまけ、「精報や自分のような経緯で設置話したりより、「精報や自分のような経過で設置話したりまでいて、情報や自分のようなどを話したりました。		0	0	10
正要素を Lesson 3 One for All, All for One [ 1	学	「知識・技能」S+V+0+C [形容詞]、S+V [ (教養] 40+C [ 原形永不定詞]、S+V [ (教養] 40+C [ 現在分詞,原形不定詞] を用いた文の形・意味・用 に表を 間まする。 ファストファッションの背後にいて、ランドのカーションのからないが、 10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・10・1	[題材内容] 型代のファッション業界についての ニュース記事。ファストファッションの 問題点やエシカルファッションについて 考える。 [言語材料] S+V+0+0・C [原ぞ詞] , S+V [使役] + 0+C [現形不定詞] , S+V [知覚] +0 +C [現在方刻。原形不定詞] [言語の働き] 説明する、理由を述べる、紹介する、発 表する ・教材 Power On English Communication II スタディノート II Deep Listening WOKKBOOK II Deep Listening ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	【使検】+0+C [原形不定詞]、S+V [知覚] +0+C [現在分詞・原形不定詞]。S+V [知覚] 形・意味・用法を理解している。 ファストファッションの背後にある間題やエシカルファッションでついて、また、自分の知について、また、自分の知について、多様な話したり書いたり、表えなどを話したり書いたりして伝える技能を見に付けている。 [思考・判断・表現]ファントファッショングので、また。自然の関略で好きなファッションだついドで、よりには、な活動について、情報や自る。 に主体・対象が表現。ファッショングラの考えなどを話したり書いて、伝えていて、伝えている。 (主体的)ファッションプラの考えなどを話したりまかについて、情報では、ある、問題やエシカルファッションの背後、また。自分の好きなファッションについて、またカルレな活動について、情報や自る。	0	0	0	10
「知識・技施  現在完了形。過去完了	797	定期考査								0	0	0	1
【知識・技能】関係代名詞(目的格)を開いた文の形・意味・用法を理解している。 日本と海外の自動販売機、海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のカ考えなどを話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 「思考・判断・表現】日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりを記していて、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えころも表になって、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝える日動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、また。カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・カース・		「知識・技能! 現在完丁形,過去完丁 形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・ 形、仮定法過去のif 節を用いた文の形・ 影味、用法を理解する。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手に ついて、また、自分の好きななどを活けっ いて、また、自分の好きななどを活けり 関係や自分のななどを活けり もいたりして伝える技能を身に付ける イケル・リーチ選手について、また、つっ に思考・判断・表現]ラグビー、また、つっ イケル・リーチ選手である。 にとは、カースを表して、 は、サーチ選手である。 に主体的 リーチボーンいて、また、い・よきいたりして与なると、 リーチボーンが表したり。書いたり いたりして与ると、 リーチボーンがよった。 はないまで、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、	「題材内容」 ラグビー選手のリーチ・マイケル選手へ のインタビュー [言語材料] 現在完了形、過去完了形、仮定法過去の if 節 [言語の働き] 質問する、説明する、紹介する、感謝する ・数材 Power On English Communication II Xクティノート II WORKBOOK II Deep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	法過去のif 節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ラグビー選手のマイケル・リーチ選手につい て、また、自分の好きなスポーツ選手や有名人について、また、多様な語句や文を用いて、情報る各核 能を身に付けている。 [思考・判断・表現]ラグビー選手のマイケル ル・リーチ選手について、また、自分のの好う分の オスポーツ選手を有名人について、情報や自分の スポーツ選手を移したりして伝えている。選手ので、また、自分の好きなている、選手について、また、自分の好きなスでいる。選手について、また、自分の好きなスでした。 「主体的」ラグビー選手のマイケル・リーデについて、また、自分の好きなスピーツ選手を有名人について、情報や自分の考えなどをおしたり書いたりして伝えようとしている。	0			10
定期考査 〇〇〇〇1		【知識・技能】関係代名詞(主格)、関目 関係代名詞の非制限用法、関係代名詞の非制限用法、関係代名詞の非制限用法、意味・用法を理解する。 解する。海外の自動販売機にかい機についた機についた。 海外のユニークな自動いて、情報している分の考えなどを話したりました。 (思考・判断・表現3)日本と海外の二句多の表立などを話したりまった。 に思考・判断・表現3]日本と海外の二句えるにかまた。 ななどを話しまりまった。 に思考・判断・表現3日から自力の考えなどを話しまった。 に思考・判断・表現3日から自力の表るにつななどの。 にまた、海外のユニクタるについて、また、海外のユニクタるについて、また、海外のユニクタえなどのは、 にま体、また、海外のユニクタえなどのに、情報や自分のクえななどのに、 には、また、海外のユニクタえなどのに、 には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	「題材内窓」 日本の自動販売機、海外の自動販売機についてのオンライン記事 「言語材料」 「関係代名詞(主格)、関係代名詞の非制 限用法、関係代名詞(目的格) 「言語の働き」 該明する、紹介する、意見を述べる、発 表する、質問する ・数材 Power On English Communication II WOKKBOOK II Deep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用 等	0	0	0	0	0	調の非制限用法、関係代名詞(目的格)を用いた文の形・意味・用法を理解している。 日本と海外の自動販売機について、また、海外のユニークな自動販売機について、多様を話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [思考・判断・表現]日本と海外の自動販売機について、また、海外のコニークな自動販売機について、信報やの自動販売機について、情報や自分の考えなどを話したり書いたりして伝えている。 [主体的]日本と海外の自動販売機について、赤流、海外のユニークな自動販売機について、精報で自分の考えなどを話したり書いたりして続えている。	0	0	0	10
		定期考査								0	0	0	1

	文を用いて、情報や自分の考えなどを論 理性に注意して話したり書いたりして伝 える技能を身に付ける。 [思考・判断・表現] ブレイルノイエの 開発の経緯や利点と可能性について、ま た、ブレイルノイエの利点と活れ方法に	・指導事項 [題材内容] ユニバーサルデザインのフォント, ブレイルノイェとその開発者の高橋湾介氏へのインタビューについての雑誌記事 [言語材料] 助動詞+受け身, S+V+C [分詞], S+V+O [if節], It seems [appears] + that節 [言語の働き] 質問する, 説明する, 例示する, 提案する, 発表する。 シ数材 Power On English Communication II スタディノート II WORKBOOK II Deep Listening レベル 2・一人 1 台端末の活用 等 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0		【知識・技能】助動詞+受け身、S+V+C [分詞],S+V+O [if節],It seems [appears] + that節を用いた文の形・意味・用法を理解している。 プレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、また、ブレイルノイエの開発の経緯や利点と可能性について、多様な語句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話した。 [思考・判断・表現]プレイルノイエの開発の経緯や利点と活用方法について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話した。事またりして伝えている。 [正常的]プレイルノイエの開発の経緯や利点と活用方法について、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、またの開発の経緯や利点と可能性にごいて、また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、また。ブレイルノイエの開発の経緯や利点と言葉にはいて、また、ブレイルノイエの開発の経緯や利点と言葉には言して話したり書いたりして伝えていて。また、ブレイルノイエの利点と活用方法について、また、ブレイルノイエの開発の経緯や利点と言葉には言じて話したり書いたりして伝えようとしている。	0	0	0	10
2 学期	目的語itとto 不定調, 助動詞ーhave+過 起分詞を用いた文の形・意味・用法を理 解する。 新ま作とキャッシュレス社会について、 また、キャッシュレス社会の長所・気 所 また、おきなどを論理性に注意を がして伝える技能を身まいたりして伝える技能を身 がしたり書いたりして伝える技能を身 に思考となどを論理、また、キャッ シュレス社会の長所・短頭について、無 について、多様などを論理とは注意を シュレス社会であり、また、キャッ シュレス社会の長所・短頭について意 となるなどを論理性に注意 配したり書いたりして伝える。 に表していて、また、キャッシュレス社会の に表したり書いた明とに伝える。 に主体的事態になりないなどない。 にとないて、また、キャッシュレス社会の について、また、キャッシュレス社会の について、また、キャッシュレス社会の	・指導事項 [題材内容] 2024年に新しく発行される紙幣にまつわる話やキャッシュレス化についてのオンテイン記事 [言語材料] It+is [was] +said+that 節,形式目的語はとthat 節,形式目的語はとthat 節,形式目的語はとなっ 定詞,助動詞+have+過去分詞 [言語の働き] 認明する,意見を述べる,発表する,質問する。理由を述べる,発表する,質問する。 教材 Power On English Communication II WOKRBOOK II Deep Listening レベル 2・一人 1 台端末の活用 等 Kahoot!,すららを活用	0	0	0	0	0	「知識・技能」It+is [was] +said+that 節、形式目的語itとto 不定詞。助動詞+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。 新紙幣とキャッシュレス社会について、また、キャッシュレス社会について、また、多様な部句や文を用いて、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書かたりして伝えび、日思考・知所・短所について、すた、特報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書かたりして伝えていた。また、キャッシュレス社会の長所・短所について、情報や自分の考えなどを論いを見いていままた。サキッシュレス社会について、また、サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、また。サッシュレス社会について、ものもいまないません。				10
	定期考查 Lesson 7 Some Secrets about Colors	· 指導事項						[知識・技能] 関係代名詞(所有格), 同格を	0	0	0	1
	Lesson / Some Descripts about Colors (所有格),依 大能 関係作名詞(所有格),依 有調 開陽 中間 明明 中間	[題材内容] 色が私たちに与える影響や色のもつ心理	0	0	0	0		「双端、及能」関係に入回が、10月代的、同僚を 動物中生の非制限用法を用いた文の形・意味・用 法を理解している。 色の心理的効果について、また、色の心理的効弱 もので表す。といる。 色の心理的効果について、また、色の心理的効弱 ものでである。 を見いて話したり書いたりして伝える技能 を見いて話したり書いたりして伝える技能 を見に付けている。 [思考・判断・表現] 色の心理的効果につい で、また、色の心理的效果を考慮した都是に足が の色について、情報や自分の考えなどを論理性 に注意して話したり書いたりして伝えている。 [主体的)色の心理的効果につい に注意して話したが多いである。 に注意して話したの心理的効果についで、また、色の心理的効果を考慮した部屋の壁の色につい の心理的効果を考慮した部屋の壁の色に注意して がよりして伝えないる。 に対している。 に対している。 に対している。 に対している。 に対している。 に対している。	0	0	0	10
	do,直前の文を先行詞とする関係代名詞の かich, to+have+過去分詞を用いた文の 形・意味・用法を理解する。 納豆パウダーの開発の経緯と汚水を浄化 するしくみや、発展途上は一の影響品の いて、また、納豆パウダーという製品の 利点などについて、多様な話を範理性に 注意して話したり書いたりして伝える 技能を身に付ける。表別、神豆パウダーの開発 能を身に付ける。表別、神豆パウダーの開 優の経緯と万木を浄化するしくみや、発 の経緯を万木を浄化するしくみや、発	・指導事項 [題材内容] ・出業利博士が開発した納豆パウダーの 誕生秘話と世界へ広がる様子についての 論説文 「言語材料] 強調構文、強調の助動詞do, 直前の文を 先行詞とする関係代名詞which, to+have+過去分詞 [言語の働き] 認明する、紹介する、描写する、注意を ひく、動める ・教材 Power On English Communication II スタディノート II WOKKBOOK II Deep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用  Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	【知識・技能』強調構文、強調の助動詞do、直前の文を先行詞とする関係代名詞which、to+have+過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。開発の経緯と汚水を浄化するしくみや、発展途上国への影響について、また、納度な方が少や大変用では、また、100円では、100円で	0	0	0	10
	定期考査								0	0	0	1

	Lesson 9 Flying after Her Dreams [知識・技能] 藤歩を表す副詞節,no matter how [where, when] (※要修正反映),仮定法過去完了,分詞構文 (過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解する。 黒人女性初のパイロットであや夢について、生また。1900年頃のアメリて、多様えなどして、また。1900年頃のアメリて、多様などして、生きにはこれで、生また。1900年度のアメリイの多様ながといる。 国というない。12 日本の大学における方が、12 日本の大学にからからいた。12 日本の大学にからからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからにありまた。12 日本の大学にからによりました。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからによりまた。12 日本の大学にからによりまた。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからによりまた。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからにないた。12 日本の大学にからによりまた。12 日本の大学にからによりまた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学にからいた。12 日本の大学によりまた。12 日本の大学によりによりまた。12 日本の大学によりまた。12 日本の大学によりによりまた。12 日本の大学によりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりによりに	なったベシー・コールマンの伝記 [書語材料] 譲歩を表す削詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮 定治過去天丁, 分詞構文 (過去分詞) [言語の働き] 質問する, 説明する, 理由を述べる ・数材 Power On English Communication II スタディノート II WORKBOOK II Deep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	[知識・技能] 譲歩を表す副詞節, no matter how [where, when] (※要修正反映), 仮定法過去完了, 分詞構文(過去分詞) を用いた文の形・意味・用法を理解している。 ス・シー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の競労について、多様な話句や文意して話したり書いたりして伝える技能を身に付けている。 [退考・判断・表現] 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の競労について、また、1900年頃のアメ情報や自分の考しなどを連理性に注意して話したり書いたりして伝えている。 [正本的] 黒人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考して伝えている。 [工事体] 男人女性初のパイロットであるベシー・コールマンの経歴や人物像や夢について、また、1900年頃のアメリカにおける女性の専門職の就労について、情報や自分の考えなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えようとしている。	0	0	0	10
3 学期	Lesson 10 To Work or Not to Work?:    Lesson 10 To Work or Not to Work?:   Munans and Robots	・指導事項 「題材内容] 日本が誇るロボットやロボットの労働などについての論説文 [言語材料] 過去完了進行形, be+to 不定詞, 未来 完了形, insist など+that+S+V [動詞の原形] [言語の働き] 説明する,発表する,提案する,予想する,意見を述べる,理由を述べる。 数材 Power On English Communication II  Xタディノート II  WORKBOOK II  beep Listening レベル 2 ・一人 1 台端末の活用 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	[知識・技能]過去完了進行形、be+to 不定 訓訓、未來完了形、insist など+that+S+V[動詞の原形]を用いた文の形・意味・用法を理解している。各種のロボットやロボットの労働内容の変化について、また,自分が考案した生活に役立ついて、また、自分が考案した生活に役立の北京状や機能などのあえなどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えるとどを論理性に注意して話したり書いたりして伝えるとどを論理性に対意して話したり書いたりして伝えている。 [思考・判断を表現]各種のロボット・やロボッキ、機能などについて、また自分が多などにいる。 [主体的]各種のロボット・の労働内を立とについて、は保報や自分のりて伝えている。 [主体的]を担いたり書いたりトやロボッ条した生活に役立つにあるとなって、また、自分が考案した生活に役立ついて、また、自分が考案した生活に役立つの変化について、また、自分が考案した生活に役立りある。	0	0	0	10
	定期考査								0	0	0	1
												合 計 105

 高等学校
 令和5年度
 教科
 外国語(英語)
 科目:
 論理・表現I

 教科:
 外国語(英語)
 科目:
 論理・表現I
 単位数: 2 単位

 対象学年組:
 第 2 学年 1 組~ 7組
 7組

教科担当者: (2,7組:清水敏) (3,4組:米澤) (5,6組:野村) (1組:狩侯)

使用教科書: ( Vision Quest English Logic and Expression I Standard )

教科 外国語(英語) の目標:

【知識及び技能】外国語の技能(話すこと、書くこと)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】場面・目的・状況等に応じて、日常的や社会的な話題について、情報や考えなどを外国語で的確に理解したり適切に伝え合ったりできる。

【学びに向かう力、人間性等】 外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現できる。

小国	【知識及び技能】 『語の学習を通じて, 言語の働きや役割など ら。	【思考力、判断 を理解して 場面・目的・状況等に応じて ついて、情報や考えなどをタ	. E	1常的	的や:	社会	的な		【学びに向かう力、人間性 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手 ながら、外国語で聞いたり読んだりした	・書	き手		
Ξ	。 □語の技能(話すこと、書くこと)についっ □ニケーションにおいて活用できる知識・‡ う。	て、実際のコ 切に伝え合ったりできる。	ょどる	を活月	用し <sup>・</sup>	τ,	自分		はから、外国語で聞いたり読んだりとだら自分の意見や考えなどを話したり書いたる。				
1					領垣	戉				l			T
	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	闡	読	話「や」	話[発]	書		評価規準	知	思	態	
	Lesson 1 I want to introduce my new friend. [知識、技能] 様々な疑問文や命令文、感嘆文の意味や用法、相手の発話に応感文の意味や用法、相手の発話に応する表現を理解する。 理由を述べる表現を理解する。 理由を述べる表現を理解する。 「気持ちなどを理由や具体例とともに話して伝え合う技能を身に付ける。 「思考・判断・表現を説明するなお表現、日々常生活を理理はでいて伝え合うとでは、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般では、一般	・指導事項 話題 紹介: 初対面で行われる自然な会 話や学校の習慣を紹介する表現を学ぶ。 文法 文の種類・様々な疑問文や命う る。また、単文、重文、複文の構成を理 解し、まとまりのある文で表現する。 機能 応答する/理由を述べる: 相手の 発話に適切な応答をする。また、多様な 表現を用い埋由を述べる。 表現、部では明本がでる。 表現、話すこと:自分やパートナーのクラブ活動を紹介する。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT ・一人 I 台端末の活用  Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	の解単述日な能[慣に体[を情感し文ベ常どを思やつ例主説報味で・る生を身考出いと体明やい重表活理に・来でと的す考	技能」様々な疑問文や命令文、感嘆文用法、相手の発話に応答する表現を理る。 (文・複文の構造や意味や用法、理由を理を理している。情報や考え、気持ちは中見体例とともに話して伝え合う技付けている。判断・表現)クラスメートに日々の習事を説明するために、日常生活や日課について、情報や考え、気持ちなどを理由や見もに話して伝えた日本の習慣や出来するために、日常生活や日課について、もにおからに、日常生活や日課について、も、気持ちなどを理由や見もにおして伝えた日本の習慣や出来するために、日常生活や日課について、も、気持ちなどを理由や具体例ととも、気持ちなどを理由や具体例ととも、気持ちなどを理由や具体例ととも、気持ちなどを理由や具体例ととも、気持ちなどを理由や具体例ととも、気持ちなどを理由や具体例ととも	0	0	0	+
	Lesson 2 Do you want to join our show? [知識・技能] 文型と動詞の意味や用 法、赞成・反対する表現を理解する。 複雑な文型や動詞の意味や用法、明きまえ、気持ちなどを理解する。 情報を文型で動詞の意味や用法、気持ち、などを理由や具体例とともに話して伝え 信を交換・判断・表現」クラのスメウケ生を理のいて、情報や考え、気伝などを理り、自分の学校生活由や具体例とともに話して伝統を交換・行列で、情報や考え、気持ちなどう。 [主体的] クラスメートと情報をなり、「主体的」クラスメートと情報となく、気持ちなどう、気持ちなどう、人間、自然のより、自然のより、自然のはないないもないればないれるいはないればないれるいはないないないないれるいはないないれるいはないないないないれるいはないないないないないないないないないないないないないないないないないないな	・指導事項 話題 学校生活:学校の文化祭に参加する留学生との会話を通して、学校生活で行われる生徒同士のやり取りの表現を学ぶ。 文法 文型上動詞:5つの文型と <there +="" he動詞+主語="">の構文を理解し、文を組み立てる。また、注意すべき自動詞と他動詞を使い分ける。 機能、費成・反対する/関き直したり、関き取れなかったことや理解できなかったことを関き直したりする。 表現 話すこと:文化祭に行く予定について話し合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック :※力く解ける! 英文法 INPUT・一人1台端末の活用 等 Kahoot!, すららを活用</there>	0	0	0	0	0	成複を学理に「換やし」に、雑理校由付思す考で主・な雑年やけ考るえ伝体自対文し活具で・た、え的公	について、情報や考え、気持ちなどを 体例とともに話して伝え合う技能を身 いる。 判断、表現] クラスメートと情報を交 気持ちなどを理由や具体例とともに話 合っている。 ラフスメートと情報を交換するため、 の学校生活について、情報を を変換するため、 の学校生活について、情報を を変換するため、 の学校生活について、情報を を変換するため、 の学校生活について、情報を を変換するため、 の学校を活について、情報を を理由や具体例ととも話して伝え合	0	0	0	
	定期考査									0	0	0	
	Lesson 3 I'm planning a day trip this weekend this weekend 技能! 現在のことや過去のことを表す時制の意味や用法,激励や励ます表現を理解する。自分の習慣や測末にしたことについて,目情報や考え、気持ちなどを理由や評細ともに話して伝え合う技能を身に付ける。 「思考・判断・表現』クラスメート観を交換するために、自分の習慣や状况、過去の田智賞え、気持ちたどを理由や評細とともに話して伝え合うないて、情報を表現、気持ちなどを理由や評細とともに話して伝える。 「主体、過去の出ていて、情報を交換するために、自分の習者を交換するために、自分の習者を交換するために、自分の習者を交換するために、自分の習者を交換するために、自分の習者を変換するために、自分の習者を受換するために、自分の習者を受換するに、	・指導事項 話題 旅行・観光:旅行の計画や予定を 尋ねたり 伝えたりする表現を学ぶ。 文法 時制:基本時制の構造と概念を理解し、伝えたいことを適切な時制を用いて伝える。 機能 激励する・励まナ/計画する・予定する:会話の相手を激励したり、励ましたりする。また、計画したり、予定していることを伝え合う。 表現 話すこと:過去に行った旅行の経験について話す。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 「深めて解ける! 英文法 INPUT・一人1台端末の活用	0	0	0	0	0	時て現法自考伝[慣に報し[過習制い在を分ええ思や,やて主去慣のるの理の,合考状自考伝体のやこま去慣る。こ解習気う・況分ええ的出週	技能] 現在のことを過去のことを表す 味や用法,激励や励ます表現を理解し とや過去のことを表す時制の意味や用 している。 情報で過末にしたことについて、情報や 持ちなどを理由や詳細とともに話して 技能を身に付けている。 判断、表現] クラの情報を交換するため、 判断、表現] クラの情で記述して が過去の出来事ので発表するため、 の習慣や週末にしたことについて、情 、合っている。 トと現在の習慣や状況、 来事の情報を交換するために、 対のて、 まなになって、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、 は、		0	0	
	いて、情報や考え、気持ちなどを理由や Lesson 4 Have you ever tried it before? [知識・技能]現在完了形や現在完了後行形の意味や用法、経験を尋ねる表現を理解する。現在完了形や現在完了を理解する。現在完了形や現在完了進行形の意味や用法を整理解する。現特らなどを理中でいて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付ける。「思考と判断・表現」パー・維統して明問や考外の液析経験などに、英語学習の期間や著ん、気持ちなどを理由や詳細とともに表して、英語学習の期間や考え、気持ちなどを理由や詳細とともなら、大き話学者の表し、大きな表しない。	・指導事項 話題 趣味・関心・趣味や関心のあることについて、その経験を尋れたり、伝えたりする表現を学ぶ。 文法 完了形・現在・過去・未来の完了 形の概念を理解し、それぞれの用法を区別する。また、共に使える語句を使って、適切に文を作ったり、表現したりする。 機能 経験を尋ねる/初めての経験を述べる・今までの経験や初めての経験について、様々な表現を用いて尋ねたり、伝えたりする。 表現 話すこと:スポーツや音楽の経験について伝え合う。 ・数材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブッグ 深めて解ける:英文法 INPUT	0	0	0	0	0	意る現解英でも「とたに細「た語情味。在し語,に思やめつと主こ学報・ こいと体と習やはとないのとまる学報・ でいる いっき	技能] 現在完了形や現在完了進行形の法, 経験を尋れる表現を理解してい 形や現在完了進行形の意味や用法を理 の期間や海外の渡航経験などについ や考え、気持ちなどを理由や詳細とと で伝え合う技能を身に力もことを 判断、表現] パームことを 実許学習の期間や海外の渡航経験など , 情報や考え、気持ちなどを理由や詳に話して伝え合経の表がとどを理由や詳に話して伝えを駆したことを完了 して、と、を表が表があるとを完了し、 選続していることを 親心としている。 は続していることを 明問や海外の渡航経験などについて 、「決ちなどを理由や詳細とともに 、人情ちなどを理由や詳細とともに 、人気持ちなどを理由や詳細とともに 、人間を表述を表述している。	0	0	0	
	定期考查		H	$\vdash$	+	H		1		1	H	⊢	-

	Lesson 5 What do you want to do after high school?  【知識,技能〕動動詞(能力・許可・推量・義務・禁止など)の意味や用法、許可を求めたり、依頼する表現を理解する。 助動詞(能力・許可・推量解する。 助動詞(能力・許可・推量解する。 自分や相手の義務や能力由や詳細とる。 「思考・質質や自分ができる表のようとのとのと、ととして伝え合う技能を身入スリーを設けていた。」 「思考・質質や自分ができる素のを出力にいて、情報もに話して伝え合う技能を身入スリーを設けているために、自分や相手の考務や能力にあために、自分や相手の考え、気持ちなどを要なが、時報とないて、情報や考え、気持ちなどを要なが、世紀をよいに、一般である。要なが、情報もあり、クラスリーを通りでいて、特報である。とを説明するいで、ともに話して伝え合うに必ず、というでは、またが、というでは、またが、というでは、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが、またが	・指導事項 話題 将来・進路:将来や進路につい て、自分の考えや気持ちを伝えたり、相 手に暴ねたりする表現を学ぶ。 文法 助物訓 様々な助動詞の意味と用 法を理解し、適切に使い分けて表現する。 必要を表す/回想する・自省する:会話 の相手に許可を求めたう。信後有する。会示 た、義務や必要性を伝えたり、過去の事 病を回想したり、自省する。 表現 話すこと:将来の夢について、伝 えもう。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用	0	0	0	0	0	【知識・技能】助動詞(能力・許可・推量・義務・禁止など)の意味や用法、許可を求めたり,依頼する表現を理解している。 り、依頼する表現を理解している。 自分や相手の義務や能力について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けいる。 【思考申別ができることを取り一分で、に必要な質質や自分ができることを担めて活動とも、に話して伝え合っている。 【思考・判断できることを担めて活動して伝え合っている。 【主体的】クラスリーダーに必要な質質や自分ができることを説明するために、自分やおなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。	0	0	0	5
2 学期	人情報や考れられた経験がよこいで、 人情報や考え、気持ちなどを理由や詳細と ともに話して伝え合う。 [主体的] がートナーに身の回りで起こる事柄を詳しく説明するために、コンビ 中で売られているものや外国人に道を尋 れられた経験などについて情報や考 え、気持ちなどを理由や詳細とともに話 して伝え合おうとする。	・指導事項 話題 日常生活・日常生活で発話される 生徒同士の自然な会話の流れや自分の感情や物事を表す表現を学ぶ。 文法 受動態・受動態を用いた様々な文 の構造や意味を理解し、必要に応じて使い分け、適切に伝える。 機能・原因・影響を表す/春び・驚きを表す・様々な表現を用いて、原因や影響について表現する。また、喜びや驚きの感情を表す。 表現・話すこと:最近買ったものについて伝える。 ・数材 「Yision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT・一人 1台端末の活用  Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	「知識・技能」基本的な受動態や様々な受動態の意味や用法,原因・影響を表す表現を理解している。 理解している。 要が、などを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」パートナーに身の回りで起こる事柄を詳しく説明するために、コンピーを発している。「思考・判断・表現」パートナーに身の回りで起こる事柄を詳しく説明するために、コンピーを発をなどについて情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話し身の回りで起こる事柄を詳して観り、エーテーにで売られているものや外国人に道を尋ねられたを詳しく説明するために、コンピーで売られている。「主体的」パートナーによのもしたとを理由や詳細とともに話して伝え合わうとしている。とともに話して伝え合わうとしている。	0	0	0	5
	定期考査 Lesson 7 I'm happy to have you with us. [知識・技能] 不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法・副詞的用法・副詞的用法・副詞的用法)の意味や用法、感謝する表現を理解する。高校生がすべき大切なことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や評細ける高校生がすべき大切なことについて議論事故やまえ、気持ちなどを理由や評細とといいに、情報を考え、気持ちなどを理由や評細とともににて伝え合う。 「生がいた」のでは、気持ちなどを理由や詳細とともにき大切なことについて確論事故を考え、気持ちなどを理由や詳細とともにき大切なことについて議論するために、何ちなどを理由や詳細とともにおいていて、何持ちなどを理由や詳細とともにおいて伝え合う。	・指導事項 話題 交流・交際:誕生日会を舞台に繰り広げられる友だら同士の自然な会話の やり取りから、感情を表寸様々な表現 や学ぶ。 文法 不定詞:様々な不定詞の用法を学び、詳細な情報を伝える。 後眺 感謝する/ 新卵する / 新卵する : 感謝・謝非・弁解する際に頻繁に使用される表現を学び、会話の相手に感情を適切に伝える。 表現 話すこと・受け取った贈り物について詳細に伝え合う。 表現 話すこと・受け取った贈り物について詳細に伝え合う。 「表現 話すこと・受け取った贈り物について詳細に伝え合う。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック   深めて解ける! 英文法 INPUT・一人 I 台端末の活用 等 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	「知識・技能」不定詞(名詞的用法・形容詞的用法・副詞的用法)の意味や用法、感謝する表現を理解している。 弱を理解している。 高校生がすべき大切なことについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に付けている。 「思考・判断・表現」、バートナーと高校生がすべき大切なことについて、情報や考え、気持ちなどを理中ではな合っている。 「主体的」が一トナーと高校生がするために、何をすべきかについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して成をがすべき大切なことについて議論するために、何をすべきかについて、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとしている。	0	0	0	5
	Lesson 8 What sport do you like playing? [知識、技能] 動名詞(動名詞吹や味上の主語人否定形・受動態。)の意味上の主語法(否定形・受動態。)の意味との主語法(否定形・受動態。)の意味との主語とは、自然を理由や詳細とともに話して、伝伝と理由や詳細とともに話して、一体を表して、大い一と話すために、となどについるなどを理由である。となどについるなどをでは、一体的、ことなどについて、「自体のでは、一体の	・指導事項 話題スポーツ・健康:所属するスポーツチームについて話す会話からチームに 誘ったり、見学を勧めたりする表現を学ぶ。 数名詞・動名詞の様々な用法を学び、動名詞の自を用いた多様ななで伝える。 機能に誘う・申し出るノ推薦する表現を学ぶ。 表現 話すこと:スポーツキることの利点について話して伝える。 ・数材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT・一人 I 台端末の活用 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	【知識・技能】動名詞(動名詞の意味上の主語 が電形・受動態)の意味や解々な用法、誘 う・を出活について、情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う技能を身に 信思考・判断・表現】学校生活についてパート ナーと話すために、クラスとなどに でいて、情報や考え合っないとを理由やする好きなことやなど。 に思考・判断・表現】ララほのでいることなどに に思考・判断・表現】ララはまっていることなどに でいて、情報や考え合っないとを理由や詳細 とともに話して伝え合っないてパートナーと話す たともに話して伝え合っないでパーナーと話す ために、クラスな生徒が自由時間にする好さ ために、クラスな生徒が自己となどについて、 前に思っている。	0	0	0	5
	定期考査								0	0	0	1
	Lesson 9 Digital media has come a long way.  Long way.  「知識・技能] 分詞(名詞を修飾する分別、(名詞を修飾する分別、(名詞を修飾する分別、(名詞を修飾する)の意味や用法、描写する表現を理解する。 上場面に 一切いて、情報や考え、「表持ちなどを能をを辞細とともに話して伝え合う技能を受ける。 「思考・判断・表現」日常 いた。「思考・判断・表現」日常 いた。「に 一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、一、	・指導事項 話題メディア・コミュニケーション: 留学生とのやり取りから、メディアを通 じたコミュニケーションについて意見を 心べたり、情報を加えて詳しく説明する 会話を学ぶ。 大語の語: 名詞を修飾する分詞の用法 や補語になる用法、また分詞構文や付帯 状況を表する/判断の根拠を述べる: 人や物事について情報を加えて詳しく説明する。 また、判断の根拠を示す表現を 後にして論理的に伝える。 表現 話すこと: 自分自身 について話して伝える。 ・教材 Vision Quest English Logic and Expression I Standard ワークブック 深めて解ける! 英文法 INPUT ・一人1台端末の活用 Kahoot!, すららを活用	0	0	0	0	0	知識・技能] 分詞(名詞を修飾する分詞)・ (+(1)・現在分詞)過去分詞)の意味や用法、 する表現を理解している。 日常生活で起こったり,経験した場面につい で、情報で考えた、気持ちなどを理由や詳細と に思考・特ちなどを理にったり、経験 した場面についと に思考・技術」では、表現」では、一次では、 に思考・技術」では、一次では、 に思考・は、 に思考・は、 に関考・は、 に関考・は、 に関考・は、 に関するためで、 に対するといて、 ので、 に対するといて、 に対するといて、 ので、 に対して、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に	0	0	0	5

	3 学期	が知っている人を紹介するために、人物の詳細について情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合う。 「主体的」パートナーに自分が知っている人を紹介するために、自分が認っている人を紹介するために、人物の詳細について情報や考え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合おうとする。	から、日本特有の言葉や文化、また異文 化について紹介したり、その違いについ て述べる表現を学ぶ。 文法、関係制:関係詞を用いて複文を作 り、語句を限定したり補足説明を加液た りする。また、複合関係詞を用いて表 の意味を表す。 機能 定義する/言い機える/経緯を説 明する:人や物事、経緯を詳細に説明し たり、言い換えをが、人	0	0	0	0	0	[知識・技能] 関係代名詞(主格、目的格、所有格、that) の意味や用法、定義する表現を理有格、that) の意味や用法、定義する表現を理解している。人物の詳細について、情報や考え、気持ちなど身に付けている。 [思考・判断・表現] パートナーに自分が知っている人を紹介するために、人物の詳細について情報や表え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合っている。 [主体的] パートナーに自分が知っている人を紹介するために、人物の詳細について情報や表え、気持ちなどを理由や詳細とともに話して伝え合うない。大場で記述して伝え合うない。大場では、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ないでは、ない	0	0	0	5
1		定期考査								0	0	0	1

高等学校 令和5年度 教科 家庭 科目 家庭基礎

 教 科: 家庭
 科 目: 家庭基礎
 単位数: 2 単位

対象学年組:第 2 学年 1 組~ 7 組 教科担当者: (1.2.7組:奥平 ) (3.4.5.6組:石井

使用教科書: ( Creative Living 『家庭基礎』で生活をつくろう 大修館書店、2023 最新 生活ハンド)

教科 家庭 の目標:

【知識及び技能 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、生涯を見通して課題を解決する。

【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

#### 科目 家庭基礎

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
話・環境などについて、生活を主体的に営む 解 かに必要な基礎的な理解を図るとともに、そ た	解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するな	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、 自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうと する実践的な態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	能	配当
生活のマネジメント 共生社会をつくる 【知識及び技能】 ・自分の生活と自分自身について みつめ、自己理解を深める。 【思考力、発育とを を選集して、 ・個人の発達財所の発達課題を強し、 があっための生き方について考える。 【学びに向かうカ、人間性等】 ・家族のライフステージの特徴と 生活課題を知り、現在および将来	・指導事項 第1章 (1)生涯,発達し続ける (2)意思決定を重ねてつくる人 生 (3)どんな生き方をする? ・教材 教科書、資料集、パワーポイント forms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・職業労働や家事労働の意義や特徴、現状と課題について理解している(ワークシート・発表) 【思考・判断・表現】・ライフスタイルや生活に関わる価値観の多様化について考えている(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】・人の一生を生涯発達の視点でとらえ、各ライフステージの特徴と課題、青年期の課題について考えようとしている(ワークシート・発表)	0	0	0	10
青年期の課題と自立 家族・家庭生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・青ように、また、自己と生活が営めるように、また、自己と理をはないで生きない。 で生きることを理解する。 【思考力、にかの弾する。 【思考力、知断力、表についる。 「思考力、表現力、表にいる。 「学びにの機管を通りて、人員でれる。 「学びにの機能が家立家庭での役割を認め、自己の家庭での役割を記し、自らの家庭ででの役割を認める。	・指導事項 第2章 (1)子どもからおとなへ (2)自立の達成をめざそう 第3章 (1)家族って何だろう (2)わかってくれて当然? (3)生活マネジメントの拠点 (4)法律から見る家族・家庭 (5)ダイバーシティの実現をめざす ・教材 教科書、資料集、パワーポイント forms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】・家族に関する法律を理解している。(定期考査) 【思考・判断・表現】・現代の家族のあり方・家庭の機能について自分の考えを表現している。(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】・家族・家庭に関する法律に関心をもち、社会制度としての家族について考えようとしている。(発表・ワークシート)	0	0	0	5
子どもの生活と子育てのマネジメント 【知識及び技能】・人の命がこの世に誕生するまでの過程を知る。 【思考力、判断力、表現力等】・子を角的な観点のといることにあったい論理的に考える。 【学びにもの尊厳にと考えることがでかから力、人間性康という生命の範にとあることなおったいからない。	・指導事項 第4章 (1)子どもの世界を知る (2)命の誕生 (3)こんにちは、赤ちゃん (4)好奇心いっぱい! (5)子どもの仕事とし (6)子どもの仕事は「遊び」 (7)子どもの健康とうこと (8)親になるとい。 (9)社会で子育て ・数材 教科書、資料集、パワーポイント forms(一人1台端末の活用)	【知識・技能】 ・子どもの発達の特性について理解している(定期考査) 【思考・判断・表現】・母体の健康管理や生命の尊さに関する諸課題について、青年期の過ごし方と関わらせて考える(ワークシート) 【主体的に学習に取り組む態度】 子どもの成長と発達について主体的に考え、実生活に活かそうとしている(発表・ワークシート)	0	0	0	10
高齢期の生活のマネジメント 【知識及び技能】 ・高齢者の生活課題を把握する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・高齢者の心身の特徴を知り、高齢期の生活を方実させるための個人的・社会的方法を考える。	第5章 (1) 高齢期に生じる生活の変化 と課題 (2) 高齢期に生じる心身の変化 と課題	【知識・技能】 ・高齢者の心身の特徴の一般的変化について理解する(定期考査・ワークシート) 【思考・判断・表現】 ・高齢者の生活の現状と課題について具体的に考えを深め、まとめたり、発表したりしている。(ワークシート・発表) 【主体的に学習に取り組む態度】	0	0	0	5

* 依服材料に応じた混催 * 適切がなままの管理	
第8章	10
報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動することや責任ある消費       ・教材         費について考察し、工夫しようと期       ・教科書、資料集、パワーポイント forms (一人 1 台端末の活用)	15
安全で快適な住生活をつくろう 【知識及び技能】 ・住まいの役割や重要性を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・住まいや住生活の変化とその要 「無考力、判断力、表現力等】 ・企まいや住生活の変化とその要	10
	70